京城日報

本紙定價 一部金參錢 壹箇月七十五錢 前金
廣告料金
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之

一月二十三日夕刊（朝夕併せて八頁）

第四十一帝國議會

衆議院（二十三日）

▼本會議（朝刊より續く）

▲内田外相 （三）過激派に對する余の觀察と望月氏の言とは相違あり答ふるの要無し（四）西伯利鐵道に就ては尚發表の時機に非ず（五）他の希望意見等は承り置く可しと答へ更に望月氏と外相間に一二の押し問答あり其際外相は發言を求めずして發言せんとしたるを以て三木武吉氏（憲政）は其不都合を責め之を切つかけに政友兩黨の野次交換となり議場漸く沸騰す次に

▲木下謙次郎氏（無所屬）登壇原内閣の外交方針は不明瞭極まると攻撃し尚學校增設に關し反質問を弄す

▲原首相 登壇、學校增設に就ては多額の經費を要する故公債其他寄附金に依る他途無しと答ふ終つて

▲齋藤隆夫氏（憲政）登壇外來思想の侵入は我國民の思想に動搖を及ぼさんとす政府は之に就き如何なる手段を講ずる方針なるやと質問す之れに對し原首相は危險思想の取締は我國體上常に研究しつゝあり又恩賜金に對しては御恵みに對し有難く拜受するは當然なり司法權行政の絕對防止に就ては研究を重ねつゝありと答ふ次いで

▲村松恒一郎氏（國民）は物價調節食糧問題に就いて質問し政府は將來食糧品を自給主義に依らんとするか又は輸入主義に依らんとするか如何又物價調節の根本方針如何と質すや

▲高橋藏相 は物價騰貴は戰亂の爲めにて一時現象なるも政府は調節に努めつゝありと答へ更に

▲山本農相 は食糧問題に就きては應急策として外米輸入、未開墾地開拓等の方針を執り將來出來得可くんば食糧の自給策を期せんとすと答ふ

▲正木照藏氏（憲政）登壇、（一）船舶管理令は存置するや（二）戰後の財政方針（三）電信電話其他交通機關の改善、命令航路に對する政府の方針如何を問ふ右に對し

▲野田遞相 は船舶管理令は急速に廢止せず、命令航路改善は大に其の要を認めず、通信機關に就ては正木君の要ふる程に非ずと答へ次いで内田外相より海洋自由問題に就き補足するところあり

▲山本農相 登壇、外米管理令は必要の場合之を適用す可く船舶運賃は以前より低下し船腹に餘裕生ぜりと答へて降壇するを待ち

▲北井波目目氏（新政）起ち文官任用令は政友會の在野當時よりの主張なり政府は如何なる程度に於て改正し何時斷行せんとするや、米騷動の原因は如何なる點にありしや又西伯利出兵に際し各師團より少數づゝを取り妻子を有する豫後備を多く取りたるは如何なる理由なりやと詰問す

▲原首相 文官任用令は目下調査中なるが改正す可き點多々あり俄に行はれずと答ふ次で

▲床次内相 登壇、米騷動直接の原因は米價暴騰の爲め人心の不安を來せし爲なるも所謂成金の跋扈に對する反感、階級的思想衝突、特殊部落民の有する平生の不滿勃發等なるが將來再發せんことは今日豫想されず之を防止するには國民一致自制自戒を要すと明快に答辯す

▲田中陸相 登壇、機密に亘る點は說明し得ざるも各師團より召集せるは編成上の都合なり豫後備兵召集は動員計畫上現役兵のみにてする能はざればなりと答ふ次に

▲兒玉右二氏（新政）は（一）近時大學教授中奇矯の言を弄する者あり政府は如何に之を見るや（二）普通選擧を陰善のものと認むるや（三）首相は人民の代表を以て國家統治權の主體と認むるか（四）ウイルソン氏提議の秘密外交撤廢に贊成なるや（五）立博士は米國に於て人種問題等は論外なりと言へり此地位より見て此言は穩當なりや（六）陸相の國家總動員とは如何（七）現在議員の歲費は賤きに失せずやと鋭く質問す之れに對し

▲原首相 は（一）奇矯の議論を弄するは不可なり（二）普通選擧の學說に根據するものは不可なり（三）議員歲費は他日改正する事あらんも今日にては大問題に非ず更に

▲内田外相 登壇、秘密外交撤廢は趣旨に於て贊成なるも如何なる程度に開放す可きや明かならず、立博士の言に關しては何等聞かずと答ふ此時大岡議長 時間切迫に就き翌日に延期するや否やを諮りたるに政友會岩崎勳氏後說に贊し時間延長に決し

▲高木益太郎氏（國民）登壇、人民の權利尊重、位階制度撤廢、貴族院と衆議院との意思疏通の爲め議院法を改正する事、繼續委員制度の實行、位階勳等の如何に依り聖斷を仰がざれば如何なる犯罪者も逮捕する能はざる如き明治卅五年の達示を廢する意思無きや、新大學令に依る基金無き私立大學に對しては如何なる救濟方法を行ふや今回の御下賜金を右私立大學にも分配する意思なきやと質す之に對し

▲原首相 貴衆兩院の意思疏通は望ましき事なり、卅五年の達示廢止は多年の問題なり政府は官尊民卑の惡弊一掃に努む可しと答へ次に

▲中橋文相 登壇、官私學に區別を措かず私立學校維持法は目下講究中なり、專任教授の數、資金供託等も學校維持上已むを得ずと答ふ此時議長より今井嘉幸（無所屬）尾崎行雄（憲政）坂口仁一郎（憲政）平島松尾（憲政）四氏常任委員辭任の件、廿三日より開かるべき豫算委員會は本會議中と許可無くして隨時開會し得る事を許可する件を諮り滿場異議無く同意し散會

▲松本誠之氏（新政）登壇、東露の貨幣流通オムスク政府の狀態、西伯利の郵便電信其他に就き質問し原首相、高橋藏相、内田外相、野田遞相の答辯あり午後七時廿分散會せり（東京特電）

◇宮館警視出張

廿二日左記の通り辭令ありたり（二日京特電）

朝鮮總督府警視 宮館貞一
英佛兩國へ出張被仰付

◇辭令 二十二日左の通り辭令ありたり（東京特電）

◆憲政會大會（去る二十日開會せる）席上に於ける總裁及び幹部連（左より尾崎行雄、加藤高明、濱口雄幸、片岡直溫、安達謙藏、河野廣中）

朝鮮總督府司法官試補 長谷川宏
同 早田福藏
任朝鮮總督府判事（七級）各通 內田修一

◇十四箇條に基く 講和條約のみに調印せん

桑港來電＝伯林に於て首相エベルトはルーター通信員の訪問に對し語つて曰く『獨逸は米國大統領ウイルソン氏の十四箇條に基く講和條約のみに調印すべし若し然らざれば首相の職を辭すべし』『獨逸のみが戰爭に對する責任者たるに非ず』と（東京特電）

◇前獨帝責任發表 講和會議公報は兩教授の手に成る

講和會議公報は巴里大學法科教頭ラルノード及び同大學國際公法教授ドラプ、レデレ兩氏の手に成る前獨帝の責任に關する報告を發表せるが右は長文のものにて結論に於て『今回の大戰及大戰中貴下（前獨帝）軍隊の爲せる罪惡に對し刑法及民法上の責任を貴下自身に於て負ふ可きものなり』と謂ふ一あり（巴里十九日發電報）

◇露國事情報告

二十日發公報に曰く 數日前アルハンゲルを發せる駐露佛國大使は講和會議にて委細露國の形勢を報告せり又最近露都を發せる丁抹公使も次の集會にて露國の事情の說明を爲すべしと（巴里電報）

◇國民會議選擧終了

獨逸國民會議選擧は支障無く終了せり各所に於ける投票場外は多數の男女辛抱強く且つ靜肅に投票順の來るを俟てり當日政府軍の優勢なる部隊は重要地點に配置され又市中を巡邏せり伯林ポツダム及びスパンドウに於ける投票は非常に多く特に尼僧の隊を組みて投票場に來りしは異彩なりき地方よりの報道に據れば各地とも投票數甚だ多く而も靜肅裡に擧行されたりと（倫敦電報）

◇憲法會議不召集

アムステルダム來電＝ローカルアンツアイゲル紙の報ずる所に依れば伯林政府は遂に伯林憲法會議を召集せざることに決定せりと（東京特電）

◇ス團再起企畫か

桑港來電＝スパルタカス團は鎮壓せられたり但し彼等は腹癒の爲め再起を企つべし（東京特電）

◇濠洲對日疑念 講和會議に於ける一大問題

紐育ウォールド巴里特派員所報に曰く 獨領太平洋植民地と濠洲の主張との關係は講和會議に於ける一大問題なるべし日本がマーシャル群島カロリン群島を占領するや濠洲は日本が永久占有せざるべきかと疑念を猛烈に言明せり濠洲首相ヒュース氏は『吾人は日本が此の方面に膨脹する時は濠洲は重大なる位置に陷るべし 之等諸國は決して濠洲の裏木戸たるものに非ず』と聲言せり（東京特電）

◇滿蒙鐵借款契約 岩佐三銀行代表者に依りて締結

日本興業、朝鮮、臺灣の三銀行代表者岩佐璟藏氏は二十一日北京に赴きたるが吉會滿蒙四鐵道借款本契約は同氏により締結さるゝ筈なり本借款は昨年豫備契約により六月と九月の二回に三千萬圓の拂渡ありたるが吉會に六千萬圓、滿蒙四鐵道に一億圓、濟順高徐兩線に四五千萬圓合計二億圓以上の大借款となるべく借款成立せば支那政府に於いて金貨公債を發行せしめ之れを我銀行側にて引受け我市場に公賣する筈なるが同工事は本契約調印後直ちに着手すべし尚右工事は滿鐵にて全て請負ふ事となるべし（北京特電）

◇弓張嶺鐵鑛組織 日支合辦＝將來極めて有望

弓張嶺鐵鑛の件に關しては既報の如くなるが今張巡閱使と合辦契約を爲したる南滿大興會社長飯田信太郎氏の發表に據れば該契約の成立せるは本年十二月二十二日にして資本金は百萬圓（邦貨）組織の特色は日支官商合辦なり（南滿にての嚆矢）最高役員は督辦一人王零光氏總辦二人を那側は奉天省議會々長劉蘭氏日本側は大興會社理事野口太內氏に決定技師長は工學士利本信之助氏なる可く商採掘作業の顧

◇此の慘苦を想へ 白雪に紅の血を染めて 西伯利出征軍の奮闘

軍司令部にては沿海、黑龍兩州に於ける我守備隊活動の詳報を發表せるが概要左の如し（浦鹽電報）

沿海、黑龍兩州の我軍は零下四十度乃至五十度の寒氣に曝され日夜警備に當り十數日風餐露宿荒涼たる山野に土匪を討伐し又は其來襲を防ぐに寧日なく勇士の飢寒に凍え氷雪の下に屍を埋め白雪に紅の血を染むる等悲壯勇烈の光景を呈し居れり十二月一日より一月十四日迄我軍の討伐に從ひしもの主要事件のみにて十四件を數へ多數の武器彈藥捕虜を得たり其中主なるものを擧ぐれば アサーボ附近に一月十一日過激派蜂起し我守備隊其來襲を受け苦戰に陷りしをアレキセーフスク守備隊より前田大尉の一隊應援し枝隊は酷烈なる寒氣を物ともせず敵の本據に夜襲し其巢窟を覆へせるが其際我軍の損害戰死三名負傷六名凍死者一名を出せり

序は探鑛作業の進捗に依り鑛量を確かめたる上決定すべし該鑛は一、二、三の三鑛區より成り面積二百萬坪鑛量數億噸と稱せられ極めて有望視されつゝあり 尚本社を奉天に支店を遼陽若くは橋頭に設置す可く且つ運行に必要なる鐵道は隨時敷設するの約束あれば併せて地方開發に尠からず貢獻するところあるべし（奉天特電）

◎江蘇米移入問題 結局効果如何

本社東京特電は江蘇米の輸出禁止を解除せし旨報じ來れるが京城某大銀行に對し二十二日の入電は『江蘇米輸出解禁問題は支那政府に於て目下審議中にして徐總統は解禁後の輸出に相當の制限を設くる事に付當局に調査を命じたり』と報じ一電は更に之に次ぎて『支那政府は日本の要求を容れ數量を限りて江蘇米の輸出を許可せり』と報ぜり右に付銀行當局は電文簡にして多く要を得ざるも江蘇米の解禁は支那政府と中央政府と省督軍との間に協調を了し結局我が政府の交渉により特許主義の輸出方針をとる事となりたるに非ずや唯その內容不明に付從つて影響も不明なりと語れり

▲消息通談 某大會社支店の消息通は曰く思ふに江蘇米解禁は事實なりとするも大した事には非ざるべし此の數日前もジャディマヂソン商會が麥粉一萬噸の米國輸出許可を得正に上海より積出さんとしたる際俄に取消されし實例あり江蘇米輸出特許もその例に非ざるか假りに其例に非ずとも省の將來は土民の生活難より來る騷擾の蜂起を甚だしく恐れ居るに付其の輸出を許すべしとは思はれず、よし米價に變動を及ぼさしむる程の廿三日東京大阪の定期米市場の強調にして東京は先物三十八圓六十三錢大阪は八圓六十五錢を示し居るにも見得べし何れにせよ正確判明せざれば影響判明かならず

◎朝鮮米界變調 仁川期米の暴騰＝正米高

連日昂騰の氣勢を續けつゝある仁川期米市場は二十三日本場に於て前日後場の昂騰を受け三十五圓七十五錢と寄り附きしが正米高を材料とする強氣一方の相場に月末の仲力を益々強め加ふるに東京大阪の關係上軟派崩退き續出して相場は共に三十八圓六十三錢の高報を傳へ來れるより場況一層沸騰し遂に先限卅六圓臺を突破して卅七錢と暴騰の記錄を示し打止めたるが大阪との鞘は二圓四五十錢に縮少し割高を唱ふるに至れり

▲正米變調 內地よりの米買付け計文籍到するも鮮內の正米の出廻り薄に米價は益々昂騰の一方にあり加之先高を見越せる鮮商連の買ひ煽り殺到したる爲め仁川に於て穀良都三十六圓五十錢を示し之れを大阪相場に比し運賃保險料諸掛費を合すれば一圓方下鞘に立ち更に群山方面にては白南信一派を中心とする現米買占めの勢力強く大阪相場の出合に比し約一圓五十錢の上鞘を示し米價は全く朝鮮獨特の相場を現はし變調を呈し來れり 唯政府の米調節關係米の解禁有之江蘇米の解禁說等は何日內地米價の奔落を來すや圖り難きを以て現下の高價が何日まで繼續すべきかは疑問なるが要するに鮮米相場は危險率の圈內に入れりと稱し得る如し

◎鮮銀新司事 人材登用の一新例

鮮銀行にては二十一日附左の諸氏を司事に昇格し同時に書記以下に多數の異動を行ひたり

出納課長心得 赤崎太一
司事を命じ出納課長 今井八十次
司事を命ず 檢査局書記 大塚正保
司事を命じ檢査役 營業局勤務 山內菊彥
司事を命ず 東京支店詰 同 安倍勉
司事を命じ東京支店助役 大阪支店詰 伊藤寛治
司事を命じ大阪支店助役 奉天支店詰 上田直秀
司事を命じ奉天支店助役 天津支店助役 先川喜代次
司事を命じ天津支店助役 山上勉
命司事內地支店總支配人附 東京支店詰 上田只一

右の司事昇格は同行人材登用上新例を開きたるものと云ひ得る如し乃ち從來同行の司事は官私立大學若くは高商出身並に前高等官と云ふ如き資格者より之れを拔き實務練熟を以て地位を進むる事は困難なるかに思はれたり一二の例外ありしも然るに銀行の幹部的事務は別とし普通の現業方面は下級行員より叩き上げし人物の技倆に俟つべき事少からず又それらの方面に於て相當の人物あり旁其優遇乃ち高等教育を受けざる行員の司事昇格は同行の問題たりしが今回決行を見たるもの前記司事昇格者中の多數は新例に基く拔擢なり素より之れの方面の人材を司事となすため學校出身者を冷遇する如き事は素より無かるべく結局人材主義の登用方針となすもの、如し尚ほ此の例は高等教育を受けざる數百の行員に多くの光明を與ふるものにして內部の評判頗る良好なりと

人事消息

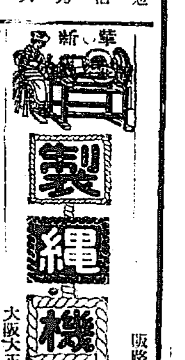
▲島崎孝彥氏（總督府土木局技師）道路災害復舊工事調査の爲め二十二日附にて忠北慶北慶南各道へ出張を命ぜらる
▲芝田玄仙氏（同上）漢江丸修繕工事監工檢査の爲め二十二日附を以て大連へ出張を命ぜらる

八面鋒

◆滋都にては過激派鎮壓せられ獨逸にては聯邦共和國建造の大綱定まる。前者は聯合國の聲援與つて力あり、後者はスパルタカス團壓倒の結果自力建造の觀あり。若し獨逸歸趨にして從來のまゝ、結合し、大統領の任期を十年とせんか將來の獨逸は依然たり、何時迄經つも英國などは苦勞の種は絕えざるべし。

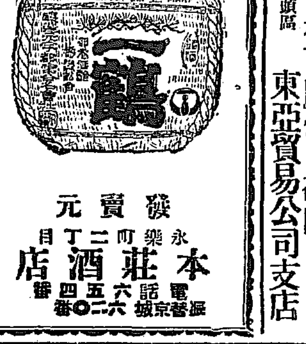
◆食糧問題研究に人心を引く事の多きは宜し、何にしても早く民生の安怡を計るべし、代用食の研究は贊成也、然れども健康を根本として、經濟に稽へざるべからざるは無論也。野田遞相は喝破して曰く、大藏省の統計に據れば、一年一人前の米の消費高は一石四斗なりと云ふも、同じ一人前中には居候の如きもあり乳兒の如きもあり、統計のみを信じて米の將來を悲觀するは斷じて當を得たる推論に非ず、悉く統計を信ぜば、統計なきに若かずと。然り、吾人も同感也。

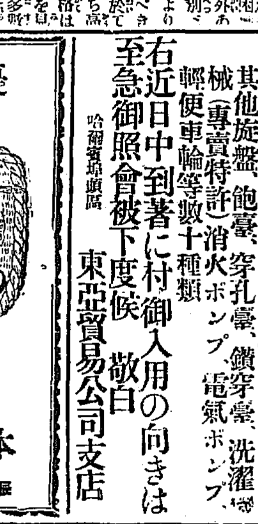
◆原首相政友會大會の席上演說に曰く、政黨は政黨の爲めに存在するに非ず、國家の爲めに存在するもの也と。然り、さればお互に自分の立場より、自分の思ふ事丈けを是なりとするは再考を要すべく政府も、然り新聞紙も然り、正義人道論も然り、自由平和論亦然らざるを得ず。



華い新
製繩機
割拂 特約店募集
販路擴張の爲め二年五回割拂又は特價提供 取引望は他店より二割安 急中込あれ 營業案內送呈
大阪大正橋西詰 帝國機械

▼汽罐機器賣却廣告▲
一 中古ロコモチーブボイラ（移動式）ボイラパイプ 馬力三十 參臺
一 中古水管式 貳臺
一 新品エンジン 橫置式（シリンダ式） 馬力 壹臺
一 モーター（電力） 馬力 貳臺
一 起重機 五噸 六噸 貳臺
其他旋盤、鉋臺、穿孔臺、鑽穿臺、洗滌機械（專賣特許）消火ポンプ、電氣ポンプ、輕便車輪等數十種類
右近日中到著に付御入用の向きは至急御照會被下度候 敬白
哈爾賓埠頭區 東亞貿易公司支店

優等清酒

發賣元
永樂町二丁目
本莊酒店
電話六五四番 振替京城二〇六番



電燈に電熱を使用すれば冷水も直ちに熱湯となります
定價金四圓二十錢
荷造送料三十五錢
輕便、衞生、經濟、安全、體裁優美、耐久
旅館料理店醫家病院理髮店其他一般御家庭より注文山の如し
特約店募集
名古屋市東區橦木町二番地
合名會社 千倉屋商店電氣工業所
長電話五〇五九番

代理店增設募集
時勢の進運に鑑み證券部業務擴張ノ爲め一地方一個所に限り廣く全國に代理店を募集す
一資格 相當資力信用アルモノ（所定ノ信認金ヲ要ス）
一業務 本店營業ノ代理行爲
一收益 月手當以外歩合ヲ支給ス（月收三百圓以上）
右希望者は履歷書及身分證明書添付至急御申込相成度候
◎詳細ハ書面又ハ面談致可候
營業種目 證券部 信託部 貿易部 鑛山部 調査部
大阪市東區北濱四丁目七番地
合資會社 末廣商會
電話本局長 振替口座大阪 發送受信略號 スエヒロ

東京山本大印石版活版インキ特約販賣店
帝國火災保險株式會社京城代理店
大阪海上火災保險株式會社
つちやたび並ニいろはたび 朝鮮代理店
貿易商 雜貨商
京城本町二丁目
藤富國太郎商店
電話三〇八番 振替京城一七七八番

大正七年七月一日改正現行

偲びまつる御面影

李太王殿下の御事共

廿三日の德壽宮には前日同様弔訪の人々引きも切らず十二時頃には糠雪霏々として降り頻り忽ちにして滿地白布を敷き數十名より成れる彼生の一團を始め門前に跪坐して慟哭する男女の姿殊に哀れげに見受けられたり

▼御快活でお話上手
毎週一度洋食を召食る
李太王附賛侍　田中德太郎氏談

李太王殿下は至つて御快活な御氣性でよく語りよくお笑ひになつた殊にお話上手なお方で吾々近侍を集めてよくお話になる事があつたお話が始まると一時間でも二時間でも續け様にお話になるので吾々は下つて來る機會がなくつい長座をする事がよくあつた』殿下は又非常な

▼下々思ひ のお方で何一つお下げになるにでも是れは誰彼は誰と一々御指名になつて落ちなくお下げになつて居た此の御懇な御心掛には何れも恐れ入つて居た、世子殿下の御事に就ては何時も近侍の者に何彼とお尋ねになつて居たが方子女王殿下との御婚儀が定まつてからは非常なお喜び方で擧式の日が待ち遠しいなど、仰せらる、事は屢々であつた又

▼御擧式後 御渡鮮の際に御使用になる世子殿下と方子女王殿下の御禮服一切は一々御指圖になつてお作らせになつたものであるが是れを御使用にならぬ内に逐に薨去されて終つたので定めし御心殘りの事と思ふ私が御婚儀に參列する事となつて十八日の夜六時頃にお伺ひすると恰度其時は御安眠中だつたので暫時待つて居ると間もなく伺候せよとの事で

▼早速伺候 すると殿下は『御前が行つて呉れるから安心だ御苦勞であるが無事に行つて來い』と仰られた其御言葉はまだ耳の底に殘つて居るのに東上の途中で圖らずも御凶變の悲報に接し何とも彼とも申上げる言葉がない殿下の御常食は餘り辛くない朝鮮料理を召し上つて居たが毎水曜日の御食事は洋食を召し上つて居た

□勅使御使御差遣
優渥なる御沙汰を傳達

總督附武官村山陸軍少將は廿三日午後六時　天皇皇后兩陛下の勅使及び御使として德壽宮に參向し貴賓室に於て太王殿下薨去に付いての優渥なる御沙汰を傳へたるが右に對して李王殿下は同日午後六時半附武官李副將を御使として政務總監邸に遣はされ御謝禮の執奏方を御依頼相成りたり

最近の李太王殿下

□東宮殿下御使

總督附武官村田陸軍少將は二十三日午前十一時東宮殿下御使として德壽宮に參向李太王殿下薨去につき懇篤なる弔詞を述べたるが右に對し德壽宮よりは李副將を事務官を政務總監邸に遣はされ御執奏方を御依頼相成りたり

▼世子殿下に御傳言
李太王附賛侍　趙民熙氏談

李太王殿下は痼疾の痔が餘程惡くなつて來た昨年の秋頃は御寢室にお入りになるのが一時二時遲い時は三時頃であつたので吾々は大變御心配申してゐると殿下は下々の者に對して心配をかけて濟まないと仰被られて御元氣をつける爲めに人參入りの君子湯を召食つて居た、又時々胃痛が覺わられる事があつたので橘皮茶と養胃湯を召食つて居た、私が御婚儀に列席の爲め出發の際拜謁すると殿下は非常に御元氣にお喜びの色を見せて『お前東上したら私は婚儀が近附いて非常に喜んで居ると世子に傳へて呉れ』と仰被つた然るに今此痛ましい悲報を聞いて全く夢の樣です

▼婦人衛生に御留意
御躬書籍を御刊行
ドクトル　工藤武城氏談

李太王殿下御生前御仁德の一斑として工藤ドクトルは語る

『大正元年夏頃の事ですが、恰度私は再度の洋行を企て既に旅裝も整つて居た頃、突然李太王殿下から御使が差向けられ

▼婦人病 治療方法を至極平易に書いてくれないかとの御沙汰に接しました、まだ其當時の朝鮮婦人は衛生思想に乏しく宮中を初め御親戚臣下に至るまで婦人病で死亡する人が非常に多かつたので、萬事に細心の注意を拂はれた太王殿下は早速救濟法として

▼通俗的な 婦人衛生に關する書物の刊行を御計畫になり私に命じて稿を起さしめになつたのですが私は御懇旨を承つて洋行は暫時見合せ早速筆を取つて約四百頁位のものを書き上げて總督府通譯官の手を煩はして鮮文に飜譯し木板

▼四十一葉 を挿んで獻上しました、殿下には御嘉納になつて早速東京で印刷に附し約千部を御近親の方々へ御配布になつたさうですが斯んなところにも殿下の御仁性が現はれて居るやうに拜察せられます』

▼御弔電頻々
首相以下朝野名士より

李太王殿下薨去の報發せらるゝや原首相、床次、加藤、田中、中橋、野田、山本の各大臣、寺内、奥、東郷各元帥陸海軍各大將其他朝野名士の御弔電山積し德壽宮にては之に對して一々答電を發したり

□大勳位
御親授延期

廿三日王世子殿下に大勳位旭日菊花大綬章を授けらるゝ筈にて當局にては既に準備整ひ居りしも殿下歸鮮御婚儀延期となりたるに就き御親授も自然延期と相成たりと（東京特電）

▼軍司令官表弔

宇都宮軍司令官は二十二日南鮮巡視中李太王殿下薨去の報に接するや直ちに御弔電を發送したるが二十二日夜歸城したるを以て二十三日午前十時德壽宮に參宮閔李王職長官に面接弔辭を述べ十時三十分退出したり

▼閔長官以下咸寧殿伺候

東上の途にありし閔長官、尹侍從、趙東潤男、李秉克男、閔泳讚等の御近親貴族等の一行は二十二日午後十一時三十分南大門驛着、自動車を驅つて德壽宮に入るや直ちに咸寧殿に伺候せり

▼王世子御涕涙
東海道にて薨去の報を

李太王殿下御重體の悲電に接せられ急遽御歸鮮の途に着かせられたる世子殿下には東海道山北驛に於て父王薨去の凶報に接し玉ひ痛悼遣る方なく頻りに御涕涙あり悲痛なる御弔電を李王殿下に向けて發せられ隨員皆袂を絞れりと承る

▼御葬儀の期日
國葬掛任命後直に決定

李太王殿下の御葬儀は多分二月下旬若くは三月上旬に擧行さる可く時日は國葬掛任命後第一著に決定さる可しと（東京特電）

○米國市民權
權を與へよと邦人四百名係爭す
◇米國軍に入隊せる◇

米軍に入隊せる邦人下田佐一氏は改正歸化法に依り今回米國市民權を與へられたるが歸化檢査官は之れに反對し桑港控訴院に控訴す可く尚米軍に入隊せる四百名の邦人亦市民權要求中にて論爭を惹起しつゝあり（ホノルル電報）

○米飛行船成功
廿七人を載せて一千哩を

米國の一大飛行船ジー一號は廿九時間を以て紐育ステーションよりキーウエスト間一千二百哩の飛行に成功したり右飛行船は乘組員七名を搭載し一時間四十八哩の速力を以て飛行し最高は二萬五千呎の上空に上れりと（紐育電報）

○ホノルル、惡感冒續出
死者百名

ホノルル、東京＝附近ホノルル市内に流行性感冒續發し本月中旬頃迄に患者四百五十名死者百名を出だせり（東京特電）

○南米日本村建設の老翁死す
惡性感冒にて
九十一翁小笠原吉次氏

昨年日本村建設の目的にて一族四十名を率ゐて伯剌爾に向ひたる九十一翁小笠原吉次氏は植民地へ向け出發前サンパウロなる令息宅に休養中流行性感冒に罹り一族に擁せられ十二月十七日午前三時遂に死亡せり（長崎電報）

○戰後の慘話
◇物資の窮乏は戰時に倍す
靴の底に板を使用する獨逸
國語の無い瑞西
光州慈惠醫院長　氏家參顯氏
◇スチームが無いので列車中で凍傷した者がある

一昨年古城全州慈惠院長、河野總督府醫官と共に瑞西に留學し今般歸朝せる光州慈惠醫院長氏家參顯氏は廿二日入城、浦尾旅館に投宿せるが其の土産話に曰く『瑞西の人種は御承知の如く獨、伊、佛の三國人より成り居り國語として別になく獨逸語、佛語、伊太利語を使用してゐる、而して現在彼れの

◇物資の欠乏 は戰時中より尚ほ甚だしくパンもバタも食へない有樣である、私の歸朝する頃も政府は其の缺乏をより尠くする爲め十一種のカルテンを發出し調節を執つてゐる、中にも燃料の缺乏の如き大したもので其の影響は電燈、瓦斯の上に波及し汽車ホテルのスチームの如き勿論なく私等の一行も汽車中凍傷に罹つた者もあつた、又學究的方面にも其の打撃がある假令ば醫學の研究材料が缺乏したり

◇化學工業用 の材料缺乏は實に甚だしく何材料と云はず平素の十五六倍にも騰貴してゐた私が當時瑞西に居て各國の交通を見た時は佛蘭西は馬鹿に國境出入が八ヶ間しく旅客は月に一回か二回位しか出入を許可しない、獨逸もなかなか八ヶ間しく取締つて居た、證據 私は國境など云へば如何にも其處には峻險な山があり深い溪谷があるやうに思つてゐたが實際此の邊の國境を見ると平坦なるものである事を知つた、瑞西と

◇獨逸の國境 は普通平野に國旗を立て鐵條網を張つてあるの佛國との境は何んにもなく只だ處々に石と國旗が立て、あり町の近所になると哨兵が武裝してゐる位で極めて自由である事を認めたそれで面白い事には一反の畑であつて四箇國に跨つてゐる處もあり一軒の家が二箇國に境してゐる家もあつた、獨逸の窮乏に就いては獨逸國内に入るを得ざりしを以て實地に目撃せざりしも親しく旅せる瑞西人の談は新聞記事等を綜合すれば其の物資

◇食料の欠乏 は言語に絶してゐるらしく、何れも瑞西の制限以上の官憲の干渉のもとに極端なる制限が設けてあるやうである、例せば靴底の如き大概板を使用し若し靴の修理をなす場合は直ちに官憲の許可を得て其の破損した箇所だけの修理をする、有樣食料に至つてはまだ甚しき制限を附し切符は制度で發賣してゐるパンの如き小量の麥粉に粉にしたる藁を加へてゐる、だから痔患者が非常に増加したと云ふ又婦人の如きも營養不良の爲め月經不順を來し

◇男子拂底の 影響もあらうが出産率が二十五パーセント減退し、等その一例である、又子供も營養不良の爲め髮の毛脫落し顏色蒼白せるもの多く而も獨逸國民全體の體量が十キロ乃至三十キロ減じてゐるなど如何にも疲憊して居る物資に至つては被服が一番で或る傷病兵が歸還するに其の血みどろの戎衣を賣り拂ひ食物を求めたるなど又獨逸の食糧その他の物資が極端に缺乏せるを物語る慘話の一つである』

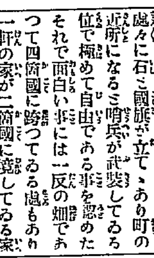
○光榮の……
豫選歌首席
立花寛篤氏
◇澄宮殿下御用掛◇

豫選歌首席の光榮を荷つた澄宮御用係正六位立花寛篤氏（四十）は筑後柳川藩主立花寛治氏の令弟で始め學習院に學んだが後早稻田大學に入つて明治二十八年同大學の中學校、女學校に教鞭を執つたが同卅七年に式部官に任ぜられ大正三年に宮典に轉任同五年に澄宮御用係になつて今日に及んだので夫人貴子は柳澤子爵の長女で一男三女がある過日來澄宮殿下の御避寒に御供し沼津に滯留し昨夜交代歸京したる氏は

◇今回の光榮 に就き語る『自分は幼少の時から父に就いて和歌を習ひ繼いて我が藩出身の歌所寄人の大口鯛二氏に就いて指導を受け毎月宮中の御歌題にも詠進して居ましたが今度本年の御歌會始めの御題に就ては

◇大正の御宇 の有難さと宏大無邊なる稜威を頌謳し奉つたのですが計らずも御選に入るの光榮を荷ふに至つたのは實に身に餘る榮譽と感泣して居る次第です今朝此事に關しては亡父鑑寛の靈に告げ

◇感謝を捧げ た譯であります』と入選に感激した氏は直ちに左の一首を詠じた『九重に咲きいつるこそかしこけれ、色も香もなき言のはの花』



○新らしい版畫
展覽會開かる
◇斯界を覺醒すべし

二十日より朱葉會展覽會と共に三越に開かれた第一回版畫展覽會は日本に於ける新しい版畫に對する理解のある團體であつてリーチ氏や寺崎武男氏のエッチングは既に定評あるもの山本鼎氏の木版は斯界を覺醒する作品に滿ち『アトリエ』の一隅『佛蘭西田園の春』城外の子供』杯は殊に光つてゐた、巨匠張孤雁氏の作品も矢張面白く石井鶴三氏の作は一種の威嚴を感ぜさせた（東京）

○女飛行家 ロー入京

米國第一流女飛行家ルス、ロー事チャールス、オリヴァ夫人は二十三日朝横濱に上陸直ちに入京帝國ホテルに入れり（東京特電）

○元晉州疑獄事件公判
言渡は廿三日

石井高曉に係る保安規則違犯事件は二十一日公判開廷せられ鬮澤判事蓮田檢事立會都甲、安武兩辯護人出廷蓮田檢事は公訴事實を述べ被告は報酬授受につき否認し被告辯護人より證人として原田を召喚されたしと提起せしも檢事はさる理由なしとて罰金百圓を適當と認むとて罰金刑を求めたり次いで被告辯護人は何れも被告に有利なる辯論を試み無罪を主張し鬮澤判事は二十三日公判に延すべく宣して閉廷せり

○優勝旗
東軍に歸す

東京大相撲は廿二日を以て千秋樂を告げたるが優勝旗は六十一點の差にて又々東軍の手に歸したり（東京特電）

○東北地方
積雪一丈

東北地方には二十二日積雪一丈に上る所あり汽車不通となれり（東京電報）

○十二師團豫後備凱旋期日

守備第十二師團司令部は廿一日大連發門司上陸豫定の一部を左の如く發表せり（小倉電報）

▲一月卅一日　小倉、北方部隊行李等の一部（輜重兵を主とす）及び福岡步兵廿四聯隊の大部

▲二月二日　北方騎兵十二聯隊に屬する豫後備兵

▲二月六日　北方野砲兵十二聯隊豫後備兵半部

以上の外は未だ日割決定し居らず決定次第發表さるべし

○鮮人强盜

朝鮮慶尚南道蔚山郡西生面修里出生金石龍（三七）は長野縣下伊那郡千代村熊谷忠三郎方に雇はれ同郡上村地籍小川路峠に於て炭坑に從事中本月十三日午後二時頃同郡喬木村阿島小間物商宮島幸作が通り懸るや強盜の目的を以て同人を棍棒にて毆打し傷を負はせるや附近の者飛び附け幸作を救助せるため目的を遂げず其場を逃走して久原礦山に潛伏中を十八日午後五時頃逮捕され飯田署に取調の上二十日檢事局送りとなる（長野）

○井上校長結婚

山一夫上申飯三郎氏の媒酌により私立城女子技藝學校長井上一要二氏は小松子と婚約成立し來る廿五日京城神社前にて式典を擧行する筈なりしが李太王殿下薨去のため無期延期せる由

東京大相撲
十日目取口（朝刊續き）

▲小牛田山に八甲山 は小牛二本差させて寄らんと見せて左下手より出し投げて勝▲若葉山に逆の矢 は互ひに突き合ふ中差り首叩き極まつて逆の勝▲大邱に綾川 は左四つにて探り合ひ大邱再三吊り身を見せたるが綾川防ぎ水入れ後一探り探んで引き分け▲錦に岩木山は 激しく突き合ひ突き出して岩木山の勝▲矢筈山に兩國 は兩國の右を手繰つて矢筈が泳ぐところを隙さず左内掛け右外掛けの三所攻めにて躙れ込んで兩の勝▲太刀光に御西山 は太刀素早く二本差して寄り御西右より小手投げを打てば太刀隙さず左の掬ひ投げ打ち返して太刀の勝▲大鳴門に逆鉾 は逆に手を用ひしが利かず右四つとなるや鳴門吊り身に寄り寄り倒したれ行司は逆の打違り利きしと見て軍配を逆に上げし爲物言ひ付き結局逆に丸鳴門に半星を與へて預り▲大の海に釋迦嶽 は左四つに組み釋迦の寄つて出る身を右より左へ捻つて高の勝▲大戸平に源氏山 は源氏上手寄り切つて勝▲紅葉川に友の浦 は激しく突き合ひ突き倒して紅葉の勝▲白岩に大門岩 は白岩の左を卷き左筈にて必死と押し切つて勝▲清瀬川に對馬洋 は左四つより清瀬二本差となりたれど對馬兩上手掴んで引いて吊り身に寄り切つて勝▲阿[illegible]に九州山 は左四つにて寄り合ひ阿下手投げを打ちしが九州殘して直ぐ寄り切つて勝▲千葉嶽に大錦 は右四つとなるや錦呼つて寄り土俵際にて右より掬ひ投げて錦の勝（中入れ）▲玉手山に一濱 は右四つに寄り合ひ濱右外掛けに[illegible]大の双筈に押し切つて勝▲[illegible] は右四つに寄り合ひ浴せ倒して濱の勝▲[illegible] は激しく突き合ひ右四つとなり直ぐ吊り出して勝▲[illegible] は中央にて敵の仕掛を待つて動かず水入れ後又手投げを打ちしが極まらず兩者互に引くや暫し[illegible]▲琴ケ浦に宮城山 は琴右を差し左を當て一氣に寄り切つて勝▲三杉に常の花 は右四つに寄り合ひ出づる身を三杉左より押し落して勝▲[illegible]山 は栃木左を差し右筈にて押し土俵際にて突き放して勝　打出し四時四十分（東京特電）

○安東縣近事

▣京都人新年會 當地在住京都府人會は二十二日午後五時より市[illegible]

[illegible]たる安東撞球大會は非常の盛會なりしが決戰の結果優勝旗は採木公司選手の手に歸したりと

[illegible]商業銀行第十六期株主總會を十九日午後四時より公會堂に於て開會諸般の報告協議事項を決議し後宴會[illegible]に散會したり

[illegible]二十日歸奉したり

▣銀市場は不振 支那の節期を眼前に控へ居る爲め銀の需用激増し[illegible]たるにも[illegible]

十日頃歸任の豫定橋本總務課長は流上分局視察の爲め本月末出張[illegible]嵜技師は筏夫募集の爲め内地[illegible]

吉氏の名によりて表彰されたり

▲山口縣人會 當地在住山口縣人新年宴會を十九日午後六時より公會堂に於て開催[illegible]

[illegible]ざりしが本月に入りての寒氣にて結氷し十四日浦監より滿津入港の[illegible]チフウ號の如き[illegible]

天氣
京城地方　自廿三日至廿四日　曇但少雪
▼京城今朝氣温[illegible]
滿潮　仁川　午前[illegible]　午後[illegible]　釜山　午前[illegible]　午後[illegible]
日出七時四十四分　日入五時四十七分

釜山から（九）

乙なお伽噺

一物事は表裏を能く透察して判斷を下さねばならぬ、と云つて其れは□の字が透察して判斷を下さぬとは云はぬ、要するに事件に明從して居るのだ、決して盲從じやない、知つて知り抜いて居るから服從だ、ナア其うだらう、とキの字は「否」を上げた。アの字は馬鹿なと云つて苦笑して居た。一體狼狽したんだ、能くある事でね、足許から鳥が立つと云ふ奴だ、存じよ其處等の石段の高い處を、下手な銃獵家がりこ〳〵やつて行くと足許から不意に兎が飛び出したんだ、下手だから大狼狽して發砲すると彈丸が何處かへ飛んで行つて見當違ひの處へ當つた、夫が評判になると、當人は面目ないので、イヤ跡方もない事だ、已れは獵師をせぬ證據には、兎なぞを見た事はない、イヤ知らぬ、存ぜぬ、事實無根だ、と云ひ張るのと同じで、兎は今頃は穴の內に這入つて鳥渡威かせてやつたら吃驚しやがつた、知らぬ顔をして居るに限る、若し〳〵龜よ龜さんよでも唄つて成り行きを見て居ると云ふ始末だ、ねら若其うじやないか、キの字は妙な事を云ひ出した。アの字は相も變らず苦笑して居たが、ツト姿勢を正すと、キの字は特に嫌許りだから話がむつかしくていけぬ、今度は吾輩が代つて話さう。君斯う云ふ面白い話があるよ、と今度はアの字が引き取つて昔話を始めた、それは此處の事でもなければ今の事でも無論ないがね、何でも東萊附近の山だらうと思はる、昔此處に一匹の大きな狼が多數の狩族を連れて棲んで居たんだ、狼にも矢ッ張り狼の規則があつて、大將の狼の下には夫れ〴〵部下の狼があつた、其部下の狼の中に久しく忠勤を盡したと云ふので非常に信任の厚い夫婦の狼があつた、其れが又大分大將の寵に馴れて、思ふ樣の横暴をやると云ふ事で他の部下の同僚の狼連から大排斥を受けた、而し此には大分嫉妬もあつたらしい、而し大將の狼は此の偏頗な愛に眼がくらんで部下の狼連の感情の衝突を知らなかつた、或年の冬籠の分け前から大騷動が始まつた、部下の狼連の中には此の隙に乘じて噛み合を始めようとしたが、其騷動を聞いて梁山や、蔚山や、龜浦や、其他の山々から馳せ付けて來た、狼の親分連がまあ〳〵と事實の調査にかゝつたが、兎に角る事は狼族の面目に關するから最う之れで止せ、狐や狸等に付けても恥かしいじやないか、と云ふ事に決まつた。其の又た問題を臭ぎ付けた鹿や猪や狐や狸等は、わい〳〵、問題は唯一つで決する事だ、まあ見て居るが好い又たやるよ、と手を拍いて見て居た、處が狼の條狼連の騷動が又始まつて狼は一匹逃け二匹逃け、何時の間にやら何處かへ逃げて行つて仕舞つて、大將の狼も夫婦の狼も遂に何處かに行つた、其れからと云ふものは其の山に狼が一匹も居なくなつた相な、斯う云ふ話ならお伽噺だから毒にもならなければ藥にもならんで面白い、ナア君其うだらう、アの字は得意の眼で座中を見廻した。一言なかるべからざるキの字は聊かしやべり疲れた姿で、ニヤリ〳〵と笑つて居る。君此のお伽噺はまだ餘り人の知らぬ話だから、君が京城へでも行つたら其處等の坊ちやんや、嬢ちやんを集めて話してやつて呉れ給へきつと喜ぶぜ、アの字は何時の間にか捕者を子供扱ひにして仕舞つて居る。捕者こそ好いおもちやになつたものだ。ア、最ふ失敬しよう、大分面白かつた、左様なら、と立ち上がると、オイ明日市內の見物でもやれよ、吾輩が御案內申す、□の字が云ふ、有り難う、と輕く受けたが、心中では明日一日彼の氣焔を聞かされたら、命が危い。

◆九段偕行社に於ける愛國婦人會新年會　前列右よりフアーヂス女子、尾男夫人作子、小笠原伯夫人、三輪田女史、櫻井近子女史

◎狩獵規則私見

鶴の巢籠は　◆繪そらごと◆

鶴は朝鮮に産せず

安東縣　ワイ生

◆中國は西伯利の奧◆

圖雉の保護　今回行はれて居る朝鮮の狩獵規則には改正すべき點が多い第一朝鮮狩獵規則には雉子の保護に就ては何等の注意を拂つてゐない元來雉子は地鳥であつて他の地方に移棲し又は渉りあるくものでない以上、今日の如き濫獲を敢てしては遠からず絶滅の時が來るだらう、今日相當の保護を加へて其絶滅を救濟する事は焦眉の急務であらうと思ふ其の保護の一策として雉子の狩獵期間を縮少する事が急務であると信ずる

圖狩獵期間　全體朝鮮は細長い地形の關係上南鮮と北鮮とは狩獵に多少の相違はあるが其の中庸を取るとせば十一月十五日頃から一月末日迄頃を狩獵期と定める必要がある第二には鷹匠の取締である此

圖鷹匠なるものは滿洲方面が本場らしく且つ雉子のみの專門狩獵であつて此の鷹匠の濫獲は最も恐るべきものである、而して鷹匠なるものは警察方の及ばない田舍に於て盛んに行はるゝもので且つ

圖無鑑札者が甚だ多い依つて取締の勵行の如きは絶對に不可能と謂うても宜しい、是等は乙種狩獵免狀に二三倍の背重な税金を課しても構はぬから嚴重なる取締を勵行して貰ひたい、現行の税金は雉子一羽二十錢內外時代に制定せられたものであつて今日の如く一番二圓五十錢、一羽一圓五十錢の高價で賣買せらるゝ時代に於ては普通

圖狩獵税でも二三倍に增額しても少しも差支はあるまい、切に希ふ朝鮮に鍋鶴を除くの外の一切の鶴族を禁止鳥としてあるが是れは甚だ理由のない事と謂はねばならぬ、元來鶴は一種の候鳥即ち渉り鳥であつて、雁や鴨と同一性質のものに屬する世人は

圖鶴の産卵を朝鮮や內地に於てするものと解して居るようであるが、實の處鶴の産卵は西伯利の奧地で行はるゝもので而も滿洲以北と云ふ事が出來る、日本の繪などに松上の鶴なぞと云ふがあるが、眞正の丹頂の鶴の如きは沼沢の邊に産卵するが事實で鶴の巢籠りと云ふのは◇眞正の丹頂の鶴ではない◇渉り鳥たる鶴を保護鳥、禁鳥とし

あり、現行の當局者の意嚮は甚だ不徹底的である

圖狩獵規則は列擧主義であつて規則に擧けてない鳥を撃つて好いか惡いかと云ふ疑問である、假令山七面鳥と云ふ鳥は一の禁止鳥であるが、元來山七面鳥と云ふ鳥は俗稱であつて、支那の學名から云へば（アー）と稱し一種の

圖野雁に過ぎない山七面鳥と稱する俗稱による禁止鳥に相違ないが野雁と云へば撃つて好いか惡いか問題となる、斯の如き例を擧ぐればイクラでもあらうが強て列擧主義を採らうとするならば先づ以て禁鳥の名を列擧して置いて他の鳥類は何でも撃つて好いとした方が餘程𡘙好な規則かも知れない

圖關東州の狩獵規則には期間を八月十五日より五月末日迄として税金に甲乙がなく一般に十五圓の重税を課してある凡つ禁止鳥なるものはない、次ぎに狩獵期間を延長する事で既に述べた雉の如きは保護の必要上期間を

圖短縮すると同時に一般の狩獵開始期を現行制より一ケ月早めて又終獵期を一箇月延ばす事は出來ないものか、理由如何となれば秋の渉り鴨は八月一日頃より盛んに南に飛ぶし、又春の渉り鴫は五月初旬から五月中旬迄北に飛んで行くが現行の規則に依るとこの

圖鴫を撃つ事が殆ど出來ぬのが殘念である、要するに鮮內に行はれて居る現制の狩獵規則は甚だ缺陷が多く我々狩獵家の爲めに遺憾の點が尠くない、雉の保護、禁止

圖禁鳥の詮衡及び期間の延長、鷹匠の取締等が主なる吾人の希望で狩獵税の二倍三倍增加は敢て辭する處ではない云々（某狩獵家談）

◎安東に新設の火藥製造會社

前滿鐵理事佃一豫氏等の發起にかゝる安東火藥會社は不日東京に於て創立總會を開會する事は既報の通りなるが其本社を安東縣に置くに決定したる理由如何に就て某消息通の語る處を聞くに火藥の原料は內地より輸入し來るべきも火藥の供給は主として朝鮮滿洲の鑛業家を目的とするものなれば安東は輸送の關係より非常の有利の地位にあるは其一なり、猶工場の建築には多數の木材を要するを以て他地方より比較的安價なる木材を得る事は安東を措いて他にあらず其の二なり、火藥製造工業には冷却用として多量の氷を要するを以て安東に工場を置くとせば冬期中鴨綠江の天然氷を採取し貯藏し得るの便あるは其の三なり、火藥包裝材料として多量の製函を要するを以て安東には鴨綠江材より製函材料を得るは容易にして比較的安價なるは其の四なり、次に其の工場敷地を六道溝大孤山街道に設定したるは水量地帶として有利なる事及び工場の設計に基き後方に山地を控へたるは理想的の敷地なりと云ふにあり因に敷地は滿鐵水道水源地附近にある安東官有財產管理會の管理にかゝる地所にして其の坪數は六萬六千百五十二坪五合なるが既に昨年十一月三十日附を以て佃一豫氏に對し特別貸下の指令ありたりと（安東縣）

◎時局の影響で金銀の出が減つた

昨年に比べれば二割にも當らぬ程に減少した（平壤）

大正七年中平壤に於ける金銀貨幣及び同地金の移出總額は僅々二十五萬二千圓に過ぎずして總て金地金なるが之を前年に比較すれば實に其二割にも達せざる狀態なり、斯の如く著しき減少を見たるは平壤地方産金事業は時局の影響を享け生産費膨大せる結果經營難に陷り收支償はざる事業者多く産金高は前年來減退の傾向を示しつゝありしが七年度に入りては此傾向一層其の度を昂めし一面金地金の鮮內需要增加せる等に起因し結局移出金の不況を了りしものなり而して輸移入金銀貨幣及び同地金は五百二十六圓にして前年に比し之れ亦半減を示すに至れりと

◎新義州の工業（三）

新義州税關支署調

◆永井醬油釀造工場　明治四十三年十月の創立にして經營者は永井驍之氏、資本金一萬五千圓、一ケ年の醬油生産二百十五石、味噌千三百貫にして時價五千三百圓、原料は平安北道産の大豆小麥を使用し販路は新州、新義州及び安東縣にあり

◆長興泉燒酎製造所　は明治四十二年の創立にして經營者は支那人なり、資本金一萬圓、支那燒酎の年産高二百八十一石時價一萬八千二百六十五、原料は高粱等にて販路は新義州地方及び京義線沿線一帶なり

◆義順祥燒酎製造所　明治四十三年の創立にして經營者は支那人なり、資本金五千圓、一箇年支那燒酎產高二百七十五石、時價一萬七千二百二十五圓、原料の仕入及び販路は前者と同樣なり

◆永成順燒酎製造所　明治四十二年の創立にして資本金は八千圓、一箇年の産額二百七十五石、時價一萬七千八百七十五圓、原料仕入及び販路は前者と同樣なり

◆松本黒鉛製錬工場　大正五年十一月の創立にて經營者は松本常吉氏、資本金一萬圓、一箇年の製錬高は約六十七噸にして時價一萬五千圓、産地は平安北道江界地方なり、販路は內地なるも目下作業を休止し居れり動力は電氣三馬力なり

◆安田黒鉛工場　大正五年六月の創立にして經營者は安田…氏、資本金三萬圓、一ケ年の製錬高は百二十噸、時價一萬七千圓なり、産地は前者と同樣にて山元の時價約一千噸ありと、仕向地は內地なるも黒鉛價暴落の爲め最少限度の二乘を繼續中なり、動力は石油發動機六馬力なり

◆足立黒鉛製錬工場　大正六年三月の創業にして經營者は足立豐次郎氏、資本金は五萬圓、一ケ年の製錬高は約五十噸、時價二萬四千圓、産地は平安北道龍川郡産にして山元の時價約二千噸あり、仕向地は內地なるも前者と同樣の理由にて操業休止中なり動力は電力、石油發動機を合せて十七馬力なり

▲永原黒鉛製錬工場　大正七年二月の創設にして經營者は永原常次氏、資本金五萬圓、一ケ年の製錬三千噸、時價格一萬二千圓、産地は平安道昌城郡地方にして仕向地は內地なり、動力は電氣石油發動機を合せて十七馬力半なり

◎平元線と議會

◆三會議所より請願書◆

昨秋平壤に於て平元鐵道速成に就て平壤、鎭南浦、元山聯合期成同盟聯合大會を開催せしが其後三地に於ても各方面に對し運動を開始しつゝありしが愈々今期議會に採擇せられん事を欲し過般來より三會議所聯合にて急設請願書を作製し之を神谷代議士の紹介を以て衆議院に提出せしが此と同時に同一請願書の寫し多數を印刷し各派代議士及び關係當局者に對し採擇及び建設實現に付盡力を仰ぎ度と意味の添書を附し夫々發送せり（平壤）

◎中學校入學試驗

今年より期日を改正す

朝鮮にて中學校の每年入學試驗は京城、大田、釜山と各校共入學試驗日に幾分か間隔ありしが過日校長會議にて問題となり斯くの如き事にては各地の落第者が順次入學受驗をなす者ありて優良なる生徒を得る事出來ざるを以て本年より前記三校共同期日に入學試驗を行ふ事となつたれば一般志望者は注意すべき事なり因に釜山中學校の本年入學試驗期日は多分二十三、二十四、二十五の三日間なるべしと云ふ（釜山）

◎小作組合增設

◇東拓大邱出張所管內◇

東拓大邱出張所管內にては先年尙州外三箇所に小作人組合を組織せしめて農事の改良普及に努めたる處成績頗る優良なるを以て本年內に更に甘箇所の小作人組合を組織せしめ從來の組合同樣農事の改良普及に努めしめ一面小作料收納の迅速を期する計畫の由なるが成績優良のものに對しては賞與の方法をも執る筈なりと

◎召集と點呼

◇在鮮在鄉軍人と注意◇

鮮內在留在鄉軍人にして本年度の召集及び簡閲點呼を在留地に於て受けんとするものは簡閲召集は三月一日限り簡閲點呼は四月一日限り何れも在籍地聯隊區司令官に其旨屆出を爲し許可を受けたる後更に演習召集にありては四月一日限り簡閲點呼にありては五月一日限り在留地の所轄師團長にその屆出を爲すべしと

◎耐寒行軍始る

步兵第七十七聯隊にては來る二十三日より向ふ一週間の豫定にて全員（初年兵を除く）平南成川方面に耐寒行軍の爲め出發すべしと（平壤）

◎南鮮物産會社成立（金泉）　金泉有志間に於て計畫中なりし南鮮物產株式會社は所期の通り著々と準備し設立の運びに到りたるを以て去る十日之が創立總會を開き重役の選任をも了りたるにより近々愈々業務を開始するに至るべく資本金は四十萬圓にして重役には左の諸氏當選したりと（社長）辻泰英（專務取締役）坂口留三（取締役）崔泰英、坂口留三、中川太生、森本清次郎、朴相根、馬象燮、陳致玉、許明、李時相、朴寅陽、黄蔡周（監査役）內田龍藏

◎酒の粕二萬貫

◆主に奈良漬に用ゆ◆

平壤釀酒合資會社の今期の仕込みより得るところの酒粕は約二萬貫の豫定であるが此等は主として奈良漬用に供給され廣く其の販路を求めて居るが本年は同會社の都合上燒酎を試驗的に製造して見やうかと云ふ計畫もあるさうな、何しろ一會社で二萬貫と云ふ粕であるから之に平壤の各酒造家の製する粕を合すると、隨分大した數字となる。斯くの如く酒粕を以て內地の本場の如く奈良漬を製造すれば平壤名物として他地方に移出され價格の上にも將來此が發展を望まるゝは容易なる問題で平壤工業界に裨益する所亦甚大であらうと思ふ（平壤）

◎自動車休止

◇安州自動車…雪の爲◇

平南安州郡新安州より順川を經て江界に通ずる安州滿浦鎭自動車商會の自動車は目下順川、江界方面の氣溫低下甚だしく積雪二尺餘に及べるを以て當分全然中止するの已むなく現時の狀態よりすれば開通期は豫定し難く多分結氷期間は休止すべしと尙ほ同地方の交通は目下非常の困難にて牛馬車の便鮮からざる模樣なりと

◎水產會社配當（釜山）　釜山水產會社は二十日午後二時より商業會議所附屬の商工倶樂部に於て第廿三回の定時株主總會を開催せしが株式配當は一割七分の好成績を舉げたり而して其他利益配分は重役會に決定の通りにて異議なく尙三箇年の滿期につき改選を行ひ午後六時散會せり

東京より

釋尾旭邦

◎早田、松尾兩君足下、小生正月來の居鮮は閑雅なる三の京城、途中郷里に立寄りて暮し山青く波靜なる所に、竹馬の友と語り父老と談じ、少年時代の戀女と純なる昔を囁き、故山の趣味を田園趣味を飽喫仕候。◎更に伊勢の大廟に參拜し五十鈴の清流に身を清めて鬱乎たる老杉古檜蒼茫尙ほ暗き中に、質素たる太古の趣を有する茅葺の大廟を拜し、懷舊轉た深きを覺え候。◎蕭月荒涼蕭索たる滿鮮の地に在る者は、大廟境內の清流と老林に接する丈けでも參拜の効能有之候◎水は恐く凍り、野は荒涼を極めたる、冬の滿鮮から內地に歸れば、山も野も青々として清流縱橫に流れ、殆ど北の世界より南國に入り、冬の天地より春の世界に轉じたる心地を覺え候。◎日本と云ふ國は實に天國に候、水に閉ち込められ居る冬の滿鮮に居る者は、盛んに內地遊を試み、冬に在りて冬を知らざる北別天地に遊ばん事を奬め度候、乍併雨多く、曇り勝ち濕り勝ちの天氣は閉口致候。◎小生東京に入り既に十日、此間五日は雨中に候、殊に雨中の東京と來ては、滿街泥濘と化し不快名状すべからず、東洋第一の文明の都と誇り居る此東京市街の泥濘と來ては、殆んど北京以上の惡路にして、文明人の住むべき都とは思はれ申さず候、此點は京城の方遙かに進步致居り候、日本には設置すべき事業實に多々有之候、殊に東京市街の改善は刻下の急務と存候◎內地は目下賃金も都會も、到處事業勃興、勞働者は仕事多く好景氣に候、各地成金熟の盛勢を見受け候も、特に感を深く致し候事も無之、物價騰貴の爲め生活難を嘆ずる聲は稍や相殺すれば景氣の好否、一寸判斷致し兼候、只汽車の雜沓は豫想外にして、何れの列車も滿員にして、殊に二等列車の雜閙と來ては三等列車以上にして、立往生して居るものを見受けると云ふ繁昌ぶり、東京の如きは鷄卵一個十錢と云ふ事にて、諸事倍價以上に候、物價の騰貴は豫想以上にし、何れの宿屋も滿員と云ふ姿に候、先づ好景氣と見て然るべきか存候。◎京も愈々議會期に入り、政界めき渡り居候、併し憲政會も元色を持して容易に動かず、國民黨又奇策を施す勇氣無き樣にて、多少の波瀾はあらんも、大體に於て今期議會は平凡を以て終らんかと觀測に候、中橋、野田の兩老に面會せしに、何れも天下泰平の顏を致し居候、政友會內閣も當分太平樂を歌ひ得べしと思はれ候、併し乍ら原內閣即ち政友會內閣の無能さ、太平樂に何れも呆れ居候◎先づは一寸御通信申上候、小生は誰れを一寸觀き廿五六日頃迄に歸鮮の心組に候匆々（一月十八日）

…か開催する由

◎撞球大會成績　安東球友倶樂部に於て十九日午後一時より開會し…

…月十一日の紀元節に延期したり何人も參加差支なしと

◎商業銀行總會　既報の如く滿洲…

…務理事大田秀次郎氏は東上中の處十九日夜歸安◎滿洲企業銀行奉天支店員大倉多七郎氏は十九日來安

…中富一、卯月榮助、前鈍鹿太郎、青山勝藏、庄田清吉の諸氏十年勤續に付滿洲土木建築業組合長有賀定…

…だ少く一般に不振を呈し居れり

◎採木公司人事　決算及び豫算の要件を帶び東上中の永田理事長は…

◎浦鹽航路

…浦鹽近海は結氷まで結氷を…以て辛うじて航行し得たるも昔…連絡の汽船にては到底航行不可能なりしならんと云ふ

氣象豫報

（午後六時）

▼氣壓の配置▲

（氣壓）	（位置）	（示度）
低氣壓	勃海	七六四
	直隸北部	七六四
高氣壓	黄海東部	七七八

大正八年（己未）一百十九年（ひのとひつじ）…入・夏至…二百十日・彼岸・土用 三月十九日 九月二十日 七月…日 三月十七日 九月廿三日

演藝案內

本町二丁目 電話一〇五〇 壽館　▲三升家一芳一座　入場料十八錢均一

東京小林商會・ユニバーサル會社特約 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 有樂館　▲一月廿日より公開 ユニバーサル…滑稽『瞬間勇士』全貳卷 米國ユ社ゴールドシール特作品 人情劇『愛の支配』全三卷 ◉米國ユ社… 『幽靈船』七八編 ◉米國ユ社バッターフライ特作品公開 奇絕海事奇談『獨艇の根據地』全五卷

日本活動寫眞株式會社代理店 黄金町 電話八七三 大正館　◎二十一日より大寫眞提供 英國アイデアル會社… 『空中魔』大雄篇 …

◎大活劇『若年の猿飛佐助』…十四歲の少年忍術家に扮… 『飛行娘』 『兄と弟』…

本町五丁目 電話二三一八 文樂座　◎浪花節 中川伊勢吉一行 …

京城明治町 電話二六〇 浪花館　…

黄金館 電話二六六・二六七　『石川五右衛門』 『森の閃光』 『新ハムレット』全五卷 …

京城本町 電話五七八 壽座　大阪歌舞伎 中村玉六 … 一座 [illegible]

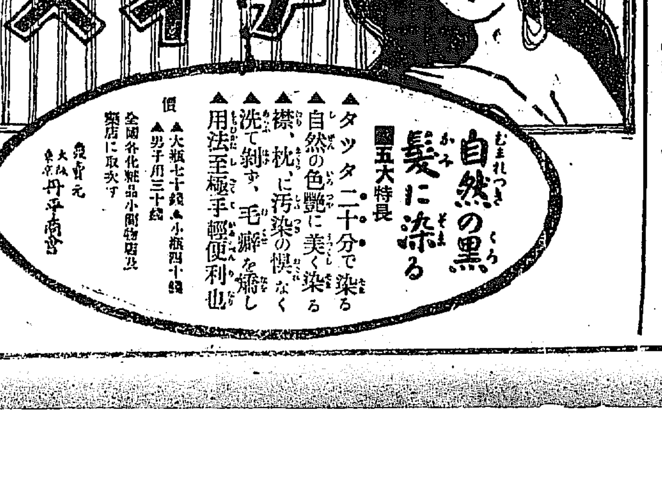
質　新規開業　倉庫完全　京城若草町三十八番地（金井眼科醫院裏）（池上病院前）麻生質店

皮膚科 徽毒科 外科 專門　扇田醫院　京城太平通一丁目 電話二三五八番

かぜ

面白い程きく　荒川のカギヤピリン
彼是と手遲せぬ様直服用あれ
現今の流行かぜには頗る妙
丸劑と散劑とあり◇小兒には又專用の小兒用カギヤピリンあり◇にせもの注意
本舗 名古屋市 藥種問屋 荒川長太郎
全國到る處の藥店に販賣す

資本金壹百萬圓　諸積立金參拾貳萬五千圓
株式會社 朝鮮商業銀行　京城南大門通一丁目
一般銀行業　倉庫業
銀行長 趙鎭泰　支配人 豊田明敬
南大門支店　本町支店　仁川支店　平澤支店　群山支店　利川支店　東大門支店



てんかん病と子供のヒキツケ驚癇
神經衰弱で困る方切手三錢送れ永年の病も自宅で人知れずヒミツに治す最善療法の詳細を無代で知らす速に申込みあれ
多數の全快者あり
名古屋市中區南小川町 救生館

商況

東京株式特電

二十二日後場引値

東株	[illegible]
同新	[illegible]
商船	[illegible]
同新	[illegible]
郵船	[illegible]
同新	[illegible]
東紡	[illegible]
鐘紡	[illegible]
同新	[illegible]
東京瓦斯	[illegible]
日本石油	[illegible]
寶田石油	[illegible]
新舊	[illegible]
北海炭礦	[illegible]
第一新	[illegible]
第二新	[illegible]
日拓	[illegible]

東京現物中値

二十二日中値

東株	一六二、〇〇〇
同新	八〇、〇〇〇
朝鮮銀行	一五二、〇〇〇
同新	一一四、五〇〇
南満鐵道	七六、〇〇〇
第一新株	二四、〇〇〇
第二新株	……
東洋製糖	七一、五〇〇
帝國製糖	五四、〇〇〇
京城電氣	一八、五〇〇
同新	二一、七〇〇
朝鮮瓦斯	一五三、〇〇〇
商船	一〇二、〇〇〇
同新	一九〇、〇〇〇
郵船	九一、〇〇〇
同新	二四九、〇〇〇
鐘紡	三三一、五〇〇
東洋拓殖	……
寶田石油	……

東京期米特電

二十二日後場　高値 三十八圓五十九錢 先限十　安値 三十八圓三十五錢　止め 三十八圓五十三錢

二十三日前場　當限 三十九圓四十五錢　中限 三十八圓八十錢　先限 三十八圓六十五錢

大阪株式特電

二十三日前場

宇治川水	五〇、〇〇	止め
京阪電鐵	五〇、〇〇	……
東洋紡織	五〇、〇〇	一〇七、〇〇
合同紡績	五〇、〇〇	……
鐘淵紡績	五〇、〇〇	一二三、〇〇
同上新株	四〇、〇〇	一三三、五〇
東洋製糖	五〇、〇〇	一三三、七〇
大阪商船	五〇、〇〇	一四〇、七〇
同上新株	五〇、〇〇	一〇五、〇〇
郵船	五〇、〇〇	一五六、〇〇
同上新株	五〇、〇〇	……
堂島米穀	五〇、〇〇	六四、四〇
東京株式	五〇、〇〇	一〇三、五〇
大阪株式	五〇、〇〇	……
同新株	五〇、〇〇	一五九、〇〇
日錢	五〇、〇〇	……
滿鐵	五〇、〇〇	……

大阪三品特電

日前場

一月限	三八〇、〇〇
二月限	……
三月限	……
四月限	……
五月限	三一〇、一〇
六月限	……

大阪期米特電

二十三日前場　寄附　當限 三十九圓三十九錢　中限 三十九圓　先限 三十八圓六十三錢　高値 三十八圓八十九錢　安値 三十八圓六十三錢　止め 三十八圓八十九錢

兵庫期米特電

二十三日前場　寄付 三十八圓八十六錢　高値 三十九圓〇五錢　安値 三十八圓八十六錢　止め 三十九圓〇五錢

雜報

●正米漸く警戒　正米は過般來の低落に相場稍々行過ぎの觀ある爲め精米筋は必しも…

當口以外總て形勢傍觀の態度探り居れるが買人は定期六回の新高値を眺め益々高張る風情ある爲め市況は**双方睨合**ひの姿にして目立ちたる取引行はれず移出向米としては現**大阪沖著の四十**四圓處迄裕に商談ありて一等米としては三等格品四十四圓見當を唱へ居れば地場手取り約三十六圓六十錢となり前日の地場相場に比し**一圓前後**の**割安**に當り市場よりは期米共に内地市場より上値を唱へ買人側は總じて漸く警戒氣味となり來れり

●**半板更に引締**　過日一圓三十錢方の引返しを告げし三番半板は今回更に**十錢方**引上げ三圓七十錢に至れり其原因は内地市場に於ける買物一時に輻輳し在荷漸く減少せしものなるが其間原板は騰返せざりし結果人氣を高からしめ且つ前途は悲觀的なるを除去せず極めて不安の狀態にあり今日にて本品の品騰は只一時的人氣作用に過ぎざれば遠からず**反落**を招くに至らんとされつゝあり

●**米糠は不賣**　米糠は此迄多少の在荷ありし處朝鮮に販され賣行頗る不振を極め居れり最近神戸沖渡しの人氣は**十一圓八十錢**乃至十二圓近かくなるに…在の持品は四十二銭目當なるも…殆ど顧みるものなきが如く從つて新規の取引は一般手控へ居れり

●**乾明太新高値**　乾明太魚は漁況不良といふにあらざるも例年に比し需要増加し殊に昨今は鮮北明況…濟にして常に品薄なるを以て産地氣配頗る强硬なり當市中相場は此處**八十二圓**全津上積見當ふさい**未曾有**の新高値を現はし居れるが**生明太**は之に反し追々需要時期を失しつゝあるも共に相場は新洛の高値九十圓處より約十七八圓方**大暴落**を演ぜり

●**鐵板昂騰す**　鐵板類は小底模様に進みし況後分氣迫りなるも一相場は三六十貫目に對し物共に**各五圓方引返**しにて前途は如何大勢は前報の如く決して悲觀を許さゞるものあり

●**白米益々強し**　白米は此數日間に約一圓方を引上げたるに昨報の如く原料との比較上尚ほ採算を唱へられつゝあり一般精米所中更に値上げを行ひ今朝は一等米**四十一圓五十錢賣實行**せしめ而して組合協議の結果二十三日より一錢方の値上げを實行するに至れり

●**支那粟氣強し**　支那粟は北後格別騰貴せざるも現物は海上物十七圓小口十七圓二三十錢を唱へにて依然堅調を失はず又二三月渡し先物に對しては引續き相場の望人ありしと雖も…み爲め何れも出廻期を控ひ居るなり

●**内地製粉氣丈**　目下賣行時期なると米價騰貴の爲め麺類等の需要増加せしため現物は漸次增加せるも品薄にて一等粉五圓八十錢同二等粉は五圓位なる…

●**正米漸く警戒**…相場稍々行過ぎの觀ある爲め精米筋は…向なるも今後に於ける米價の傾向は何分近來小麥の産額減少の爲め**氣迷ひ風情**となり居れり

●**菜種油反騰**　菜種油は休戰以來斧落歩調となり一時は九十一圓邊を唱へしものが漸次下落して八十八圓見當の三圓方安となれるも一般需要家にありては先へ見へみの爲め一寸も相場に關せず手を出さゞるより商館探散を極めたる結果最近に至り相場も稍々落付き模様となり却て大手筋の買付相場は**五十錢方反撥**高となり八十八圓五十錢となせり

●**内地礦油市況**　目下に控へたる礦油市場は一向取引無く人氣は兎角低迷ひ勝ちなり▲燈火油は内地油の移輸出に依然制限の姿なれば氣配は…人氣の沈靜なる割合に底強き成行を辿れり▲輕油は最近關東漁業地方の付けに此處珍らしく小堅き商況を示し否や疑問といふべし▲揮發油は業人筋の見切賣物にて人氣悪化に至れり▲器械油は買氣現れざるに在荷潤澤とて氣配益々軟弱を呈し目先八圓相場の出現をるやも計り難き成行なり

●**千瓢入に墜落**　千瓢は在荷頗る潤澤なるに賣行全然不振なるより人氣全く破落し相場漸落歩調を示せしが最近一等十又々一圓五十八圓と**十錢方の暴落**を演出したり尚は先物三月は十六圓五十七錢見當の振合なり一切乾も亦賣行不振なり其他の乾物類は一般に薄く正月の仕入一巡し取引閑散なり

下關相場

▲朝鮮米は弛まず　其後期米の傾向に…産地の如き幾分不勢を傳へ居るも何…當地は是又至極傾向の位置にある折柄共後出廻りも切れ途切になる内地米も別段狂はざるに依り更に市況弛まず現物口々を合せ五百叭許りは四十二圓七十錢乃至八十錢に手合せ行はれ來月物は矢張四十二圓八十錢の唱へなり▲而して弗々の出來値は左の如し▲大豆は矢張氣頭し▲大豆は…りて途切れたるのみならず今後出廻り多からぬとの氣構へを以て各荷主の意響きに依り矢張人氣を…き者は多少の引締りを見るなら

▲小豆は依然手堅く北後安んずも依然手堅し

各地商況

◎群山正米　二十二日　本日地米界にありては市況…活氣を呈するに到らざるも相場一…り。一昨日は又々蘇人側の買付の姿にありて現に角定期米か…盛を極め買萌出しの大暴騰みし…めして今朝市場にありても最早…頭日來鮮人側にありても最早

▲朝鮮一等白米　四十二圓九十錢　四十二圓七十錢

▲同　現口　四十二圓八十錢

▲同　當用　四十三圓二十錢

▲同　四十圓八十錢　四十一圓五十錢

▲元山大豆　廿一圓五十錢　廿一圓六十錢

▲肥料の況況　魚肥は低調にて…

下關相場（續）

十錢に手合せ行ひは僅に二十三圓五十錢…

仁川正米

◎木浦米況　二十一日　天候引續き不良なる爲め製品捗々しからず賣物一切無く大阪迄に無手合に終れり…

釜山市場

米（二十三日）▲正米保合　出廻り相變らず…

仁川期米

▲二十三日前場（俄然沸騰）

第一節　大阪の氣丈を移して人氣一變し前場は不申出來不申三十四圓…

突破して〇三錢と沸騰せし物多く**三十六圓**…

安に寄付…

十五錢十一錢

先三十五圓七

爆發し高値は賣物現れ五錢…

二十九錢

園仲買店

仁川米豆取引所仲買人　電話二八三番　電略（カクシ）

仁川米豆取引所

廿三日の三月限

	前場	後場
寄付	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]
出來高	[illegible]	[illegible]

賣買取組高

一月限	[illegible]
二月限	[illegible]
三月限	[illegible]

前日との比較

依って只正米納に**見**…

演さ**意外反落**

宣告を受ける者が多い　金切れ處分

後場總崩

仁川米豆取引所仲買人　[illegible]

市場雜觀

▲二十二日後場各地入電未著なるも大阪前場の止高を移して…

卅六番角力　毛谷村六助

百二十三席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

村越三十郎は度々戰功を現はして家康公より感狀を給はり、其の上徳川の旗下にして皆朱の槍を許されました、皆朱の槍を許された者は、渡邊半藏、蜂谷半之丞、村越三十郎位でありまして實に名譽なものでございます、戰ひに臨むこと強いが、學文が無いから起居動靜が何となく疎暴で時々他人の笑ひを受けることがございますそれを酒井左衛門尉忠次が氣の毒に思ひ、我が家へ呼び寄せて學文をさせました、處が三十郎頗る記憶が悪い、幾ら教へても却々覺ねない尤も此の人は戰場へ出て敵に對つて名乘を揚げる時に自分の名を忘れる事が度々あつたといふ、係ういふ人物に指南をする酒井忠次の苦心は一方でございません、最初にいろはを教へ、それから一二三の數字を教へました、當人も一生懸命に稽古をした爲に何うやら平假名と數字だけは覺ねました、或日詰所で若侍が村越を見てバラ〳〵と周圍を取り捲き○『村越、貴殿は當時酒井殿より讀書習字の指南に預かるさうだが、何うだ少しは覺ねたか』三『イヤ一生懸命になつて修行したお蔭か、平假名を殘らず覺ね其の上數字を一より十まで覺ねてしまつた』○『貴殿は幾歳になる』三『今年廿六歳だ』○『廿六で始めて平假名に數字を覺ねるとは實に恐れ入つたものだ』三十郎是を聞くとニッコリ笑ひ三『然うだらう、廿六で平假名と數字を覺ねる者は然う澤山はあるまい、酒井殿も廿六歳にしていろは四十八文字と數字を覺ね込むとは實に珍らしいと云はれた、何と偉からう』若侍は呆れて廿六にもなつて始めて習字をするは馬鹿〳〵しい奴吾々が嘲弄するのを賞められたと思つて居る、可笑しさを堪へて一人の若侍が料紙硯を取寄せ、白紙を前に據ゑて○『村越數字を此紙へ書いて見なさい』三『心得た、書いて見せるから驚くな』○『何の驚く奴があるものか、一から十まで書いて見ろ』三『さア今書いて見せるから見て居れ』と突如筆に墨を含ませ白紙へポンと當てスーと横に一を引いた三『何うだ是が一の字だ、一は萬物の始まりといふ、總て數は一から出るものだ』○『成程能く覺ねたな、然らば今度は二を書いて見ろ』三『承知した、何うだ、二は最初に一を引いて其の下に又一を引く是即ち二なり、二ツあるから二といふ、二といふのは二ツのことだ』○『そんな事は誰でも知つて居る、今度は三を書いて見ろ』三『宜し、先づ三は女一生の大事とてある』○『其の產とは違ふぞ』三『然うだ〳〵數の三であつたな、能く見て置け、ソラ一を引いて、其の跡へ少しく小さく一を引き、それからズッと長く一を引く是れ即ち三なり、之れは三ツのことだ』○『餘計なことを云ふ、さア今度は四だ』三『偖此の四が六ヶ敷、是は棒を四ッ引く譯にはいかぬ、先づ係うだ』○『能く覺ねたな、今度は五だ』三『追々六ヶ敷くなつて來る、先五は係うだ』と首尾能く五も書き終り、續いて六も書き其跡が七の字である三十郎はズーと横に一を引き上からズッと貫して來て……偖此處では無事であつたが、何方へ曲て宜いかと考へて居る、是を見て若侍は素より三十郎を困らして遣らうと巧んだ事故、計略圖に乘つたと喜んで居る○『さア村越十は何う書くのだ、何を考へて居る』三『待て〳〵急くな』○『横に一を引いて上から棒を貫したばかりでは十の字だ、早く何方へか曲げないか』三『待て、曲けるのは存じて居るが』○『存じて居るなら早く曲げろ』急立られて三十郎眞赤になり額より汗をポタリ〳〵と滴し『ウン〳〵』と呻吟て居ります、若侍は手を拍つて笑ふ、當人は愈逆上して何うしたら宜からうと非常に苦心いたしました

人蔘王

京城本町壹丁目　電話一四八〇・一八七〇番

ツ　津村兄弟商會

○新義州雜俎

▲新義州日本人　最近調査にかゝる新義州府内の日本人戸口を聞くに戸數八百七十二戶男千八百五人女千六百三十三人合計三千四百三十七名なりと

▲許領事の歸省　當地支那領事許鼎氏は一個月の休暇を得て北京經由故郷江蘇省に歸省する筈にて十九日夜出發北行せり

▲馬賊江を渉る　去る十六日義州郡玉江鎭邑内に八名の馬賊砲聲を擁へ鴨綠江の氷上を渉りて侵入せんとしたるを憲兵駐在所員探知して擊退したりと

▲寺尾署長歸期　印度方面視察中なる寺尾新義州稅關支署長よりの最近消息によれば二月十日頃には嘉坡滯在の由にて歸期は二月下旬頃なるべしと

▲狼群跳梁　本月七日夜半義州郡加山面甘泉洞李根賢方に數頭の狼群襲來し同豚一頭を咬殺して其蹤跡を晦ましたる旨其の筋へ報告ありたりと

○日本蠶業學校　長野縣埴科町なる同校は目下生徒募集中なるが從來同校は秋蠶專修學校と稱して將に十二年の星霜を閱し今回日本蠶業學校と改名し更に規模を擴張して模範蠶室及び特別講堂を新築す可く目下工事中なるが來る四月迄には竣成すと

一月廿四日

（舊）十二月廿三日　金曜

▼四緑▲身の廻りに氣を付く可き日

▼五黄▲弱身を見せる事を禁物とす

▼六白▲親切の先方へ屆かぬ日也

▼七赤▲兎もすると齟齬の行ぬ日

▼八白▲何うも引立樂のせざる日

▼九紫▲大願成就の日にて美事なる日也起業棟上緣談旅行其他一切吉

▼一白▲花やかな賑かなる日にて氣の清々する日なれば萬進んで吉

▼二黒▲感違ひを起し易き日なり

▼三碧▲親しみのある美しく賑やかなる日にて婚禮棟上金談等吉

京城府告示第一號

大正七年度京城府歲入出更正豫算左ノ如シ

大正八年一月二十三日　京城府尹　金谷充

大正七年度京城府歲入出更正豫算

歲入　第十五款　雜收入　金三千四十五圓

歲出經常部　第八款　雜支出　金千二百圓

第十六款　豫備費　金六千九百九十八圓

歲出經常部計　金三十二萬三千六百八十二圓

歲出合計　金五十六萬七千六百八十五圓

株券紛失公告

一、清州電氣株式會社株券　壹枚　但拾貳圓五拾錢拂込

右記名ノ處紛失ニ付キ本日ヨリ起算シ…當社ニ申出ラルベシ

大正八年一月　清州電氣株式會社

東髮にハイカラ

本品頗る高評

高等煉香油　二葉ポマード

大阪久寶寺町　化粧品問屋　角

京城古市町　電話一七四六　畑兄弟

畑硝子工場

藥瓶　エキス瓶　其他一般の御注文に可應候

最上醤油

朝鮮仁川港

高杉醤油醸造場

◎ミツワ座瘡膏（みつわ・にきびのくすり）　一函金二十錢

座瘡を治癒し毛瘡白癬に卓効ある

家庭治療法　定價の半額を…

主要成分　レゾルチン、チゲノール、沈降硫黄、樟腦カンフル（詳細は說明書にあり）

適應症候　座瘡、皮脂漏、酒皶鼻、毛瘡、白癬、疥癬、粃糠疹、鱗屑疹等

妙齢の男女の顏に著しく出來、針先から小豆位の大きさの丘疹で、其の尖頭に黄色い膿をもち、其周圍は紅く腫れ、膿が出ると小さな瘢痕が出來、其の跡に黒い色素が殘り、容貌を極めて醜くする座瘡が出來てから…皮膚が膩ぎつて厭な光澤を帶び、幾度拭いても復忽ち元のやうになり、それに塵埃が附いて汚らしい皮脂漏。此等皮膚病にはミツワ座瘡膏を塗るに限る。又座瘡などを豫防するには、ミツワ石鹸を用ひて便通を程宜くし、優良無刺戟のミツワ芳香健胃藥の服用を…

如斯人は◎ミツワ座瘡膏を用ふべし

一、座瘡の出來る人　一、皮脂の出過ぎる人　一、顏面の膩ぎる人　一、酒皶鼻の人　一、毛瘡のある人　一、疥癬の出來る人　一、しらくもの出來る人

◎ミツワ頑癬膏（みつわ・たむしのくすり）　一函金貳拾錢

頑癬殊に陰囊癬及白癬に大効ある

主要成分　ベタナフトール、沈降硫黄、木タール、酸化亞鉛…（詳細は說明書にあり）

適應症候　頑癬、陰囊癬、白癬、疥癬、濕疹…其他細菌等の寄生に因つて起る皮膚病

頑癬の中最も多いのは陰囊癬で、初め陰囊に紅い圓い斑が出來、其の周圍に小さい水疱をつくり、漸々大きく廣がつて、皮膚や腋の下、腋窩又頭部に出來て被はれた輪廓が出來て、甚だ痒いもの。白癬こて頭部に出來るしらくも…

如斯人は◎ミツワ頑癬膏を用ふべし

◎ミツワ制痒膏（みつわ・かゆみどめ）　一函金拾錢

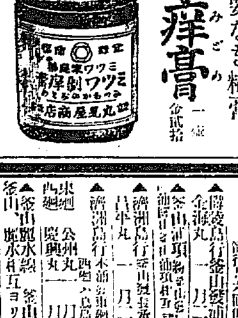
制痒の效著しく繃帶の要なき糊膏

主要成分　石炭酸、酸化亞鉛、グリセリン、トラガカント（詳細は說明書にあり）

適應症候　皮膚瘙痒症、汗疹、水蟲、濕疹、蕁麻疹、痒疹、火傷、凍傷、皮膚皸裂、痘瘡、皮膚、蟲類及び魚類に刺されたる場合

ミツワ制痒膏は痛痒を止めるのが目的であつて、汗疹や水疱瘡が出來、ジク〳〵濕つて痒くてたまらぬ濕疹、肛門や陰部の皮膚に瘙痒を感ずる皮膚瘙痒症、手の指や足の趾の間に小さな水疱が出來て、痛痒の著るしい水蟲、皮膚に圓い小さな斑が出來、搔くと瘢のやうに表皮が落ち、輕い瘙痒のある癜風、其の他蕁麻疹、火傷、凍傷、皮膚皸裂、汗疹蟲類及び魚類に刺された場合には本劑を塗るに限る。本劑は普通の膏藥と違ひ粘著かず、繃帶する要が無く、至極便利也、而も奏効確實な良劑である。

如斯人は◎ミツワ制痒膏を用ふべし



發賣元　東京橋町　丸見屋商店　ミツワ石鹸本舖

大阪商船出帆

（仁川出帆）

群山大阪行　安東丸　一月廿六日　正午出帆

木浦大阪行　信濃川丸　一月卅一日　正午出帆

（元山出帆）

西湖津、新浦、城津、清津行　宮島丸　一月廿六日　後十二時

釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　安平丸　一月廿九日　後九時出

（大連出帆）

上海、基隆、打狗行　湖北丸　二月十四日　前八時出　後六時出

日本郵船出帆

大連、秦皇島行　一月　日　朝出帆

酒田丸　一月十三日　正午出帆

淡路丸　一月廿二日　正午出帆

朝鮮郵船出帆

元山雄基線　元山起點各港經由雄基　隱岐丸　一月十八日　元山發

平安丸　一月　日　元山發

平壤丸　一月　日　釜山發

成鏡丸　一月廿二日　元山發

忠清丸　一月　日　釜山發

大阪行　慶興丸　一月廿七日　元山發

關門行　元山、釜山經由　一月廿九日　元山發

金剛山遊覽便　元山發

多島海行　木浦發多島海各島行　一月廿一日　木浦發

木浦濟州行　一月　日　木浦發

釜山蔚山行　毎日一回出帆

其他各密港地ニ荷客取扱店　京城南大門通　電話長二〇七

汽車時間

京釜線（南行）（北行）　京義線（南行）（北行）　湖南線（南行）（北行）　京元線（北行）（南行）　仁川行　京仁線

[illegible]

京城日報

會議興味五點

巴里　社特電

[illegible]講和會議の[illegible]を覗ね候

◇第一はカイゼル引渡問題に候、惟ふにカイゼル引渡の如きは休戰當時列强の夢想だにせざりし所にして、ロイドジョージが選擧運動の好題目に供せしのみ。然も此の題目が英國人の熱求と化し、今やロイド・ジョージは却つて民衆の要求に聽從せざるべからざる姿と相成候。随つて一時滑稽視されたる本問題が本邦人の想像以上、案外眞面目の問題たらんとする傾向を示し候

◇第二は國際聯盟問題に候。國際聯盟はウィルソン氏之を提唱せしと雖も、決して新しき問題にあらず、又嘗て前外相グレー氏の之を提唱するや、ロイド・ジョージ氏の如き、私かに冷笑を試みたる一人に之れあり候。然るに最近此の夢の如き國際聯盟論が、案外英佛國民の輿論を結成し、之を冷淡視しては何事も進行せざる有樣に陥り候。これ大戰の反動として民心深く國際戰爭の再現を恐怖するが爲めに外ならず候

◇第三は米國大統領ウィルソン氏が、意外に互讓的精神に富み、我見に執着して大局の交綏を遺忘するが如き沒分曉漢にあらざりし一事に候。一例を擧ぐれば海洋自由に就ては英國に讓歩し、獨逸救援に於ては英佛の抗議を容れ、國際聯盟に就ても英佛案を採納せし雅量あるもの、如くに候。随つてウィルソン氏は到底英佛と主義を以て爭の勢力を喪へる者に候

◇第四は講和會議の結果は、既成の强大國よりも小弱國の發言權を増大ならしむる傾向を呈し候。假令ば南米諸小邦の發言の如き、將た歐洲に在りても比較的小弱國の主張が列强の利害關係を牽制し、爲めに名分上將た實利上豫想外の獲得を敢てすべし。これ亦本邦人の未だ豫見し得ざりし所に候

◇第五は聯合國殊に英佛兩國の對獨感情意外に險悪にて、彼等は獨逸を以て永久不倶戴天の仇敵視するもの、如くに候。例へば英國に於ける獨逸人全部の逐放の如き、將た對獨通商及取引の禁止の如き、將た巴里經濟會議決議の勵行運動の如き何れも對獨憎悪心の熾烈旺盛なる事實を物語り候。勿論これ大戰の反動、感情の亢奮も手傳へるに相違無し、然も彼等の對獨敵愾心が、到底短日月間に消散すべくも見えず候。これ亦邦人の想像外とする所に候

◇以上の五點は最近の情報に基き、記者の感得したる代表的要目に候。無論記者は之を以て永久將た絶對的の眞理とは思はず、唯だ以上の五點は邦人の比較的輕視せる所たるを以て茲に大方の參考に供し注意を喚起するに過ぎず候（二月十九日）

償金支拂能力　獨逸財力如何

▽帝國銀行報告　昨年十二月末日附獨逸帝國銀行營業報告要領左の如し（單位磅但し二十麻を一磅に換算す）

貨幣及地金	一二四、〇九九、四二〇
内金貨幣及地金	一一三、一〇〇、一五〇
政府紙幣	二六三、三〇〇、〇〇〇
他銀行券	一五〇、〇〇〇
割引手形	一、三七〇、八〇〇、〇〇〇
貸付	三〇〇、〇〇〇
投資	七、八〇〇、〇〇〇
有價證券	一一九、四五〇、〇〇〇
銀行券發行高	一、二〇九、四〇〇、〇〇〇
預金	六六四、〇〇〇、〇〇〇
他債務	八八、八〇〇、〇〇〇
積立金	四、七二五、〇〇〇

因に聯合國最高軍事委員會は新休戰條件として右金貨及び地金の伯林よりフランクフルトに移送を要求したりと傳へらる

▽經濟學者所論　獨逸經濟學者は獨逸が多額の償金を支拂ひ得ざる事及び獨逸を經濟的に回復せしむる爲め全力を注ぐは聯合國の利益なりと主張しつつあり但し教授フランツ・オッペンハイマーはベルリーナー・ターゲブラットに於て獨逸の支拂ひ得る償金及び物品の最大限は[illegible]なるを說き左の辯論をなせり（聯合國にして）若し獨逸に復讐せんとせば獨逸を亡ぼすべし然れ共若し償金を得んと欲せば獨逸を生産し得る狀態に置く可し少くとも獨逸をして絶對不能に陥らしむる勿れ

▽保有正貨疑問　昨年十二月九日獨逸ナチオナーレ・ツァイツングは獨逸帝國銀行の正貨保有高に關する同行報告に付人心の不安益々高まれる旨を陳べたるが同月廿四日のドイッチェ・オエコノミストは曰く獨逸帝國銀行報告が果して正確なりやを疑ひたる者は開戰當初英國及び佛國に於て頗る多かりしも當時獨逸新聞紙は筆を揃へて駁論を試み終に其聲は大ならずして止みたり此の如き疑問が從來與論を以て目せられし所以は自行銀行券の信用を擁抵より破壞するものにして同行が此自殺的行爲を採用せざるべきこと直ちに明かなればなり然るに今や一般人心恟々たるときに當り根據なき疑問を銀行報告に付し挿み獨逸帝國銀行理事者を信頼せる者に對し不安の念を起さしむる者あるは誠に遺憾に堪へず然れ共獨逸帝國銀行當局が今日迄の經營に依り贏ち得たる信頼は根柢頗る深くして此の如き批難に依り到底動搖すべからずと（東京）

財界の新舊人（12）

西海生

朝鮮銀行總裁　美濃部俊吉君（三）

美濃部總裁は朝寢坊で通つてゐる。普通十時近くならねば床を出でぬ人のやうに思はれてゐる、然しこれは世間の誤信らしい、事實總裁の起床は外人と普通人とは異ならない、寧ろ夙起の方だとは親近者の話である、然らば何故に斯かる盛評の看板を下さぬのかと疑ふ人もあらう、そこにわるく言へばするい、よく言へば勤勉な總裁の一種の性格が現はれてゐる、君は朝寢坊で通つてゐるのを好い機會にし、その利用を有効にやつてゐるらしい、乃ち内外の新刊物に目を曝すのは多く此の間で、只管時勢に遲れざらん事に之れ努め、又は銀行の重要の事務を關し、若くは各種の思案に耽る事としてゐる。

▲頭が好いのと、此の努めて止まぬ研究心とは、その各方面に對する汎い智識、透徹した理解力、進んだ意見となるらしいが、さればこそ君は多くの場合に於て語る事を極端へ目にしてゐるやうである、寧ろ口の人よりも頭の人、云ふよりも考へる人である、勝田前總裁は意見も中々多岐に亘つてゐたが、他よりその意見を問はるれば十二分に發表する人であつた、然し現總裁はその見た處を問はれし場合極内輪にしか言はない人である、そこに君の人物の奥行きの深い所を見、人物の含蓄の淺からざる事を示してゐると云ふ人がある。

▲相當高い地位を占めてゐる人にも色々あるやうだ、記者が便利なやうに分けると、一見直ちに頭角けてゐる事を示す者、話してゐる内に成程人の上に立つ人材だと思はする者、すぐには傑いか、傑くないか分らぬ所謂茫漠たる所あれど事實は偉い人となるやうだ、此の三種類の人物の代表者を鮮銀に求むれば、第一に木村理事、第二に三島理事、第三に美濃部總裁と云ふ順序にならう

▲木村理事は學生式の語調、敏感にして精悍、大抵な問題は結論本論をうち飛ばし直ちに結論に入らうとする人である、謂々と一事の經過や歴史を氣永に聞く事は理事の忍び能はざる所らしい、三島理事は冷者にして動ぜず、智慮に富み識見高く、對談中にその凡ならざるを示す人である、美濃部總裁は品の好い調子で淡々水の如き話振りをなし、どこ迄深いのか鳥渡淵乎として輪廓の判明せぬ人だが、鮮銀の重役をよく知れる所謂消息通は、總裁の人物識見は共に重役中の首位に立つ人だと云つてゐる

▲よく斷じ、よく行ふ、乃ち頭角の材であると云ふ事は、君の來任後の鮮銀の進歩變化に之れを見れば直ぐ分る、二年の間にその資本金を四倍にしたのは驚くと思ひ切つたやり方で、銀行界の記錄破りらしいが、それは君の來任後である、滿洲に於ける正金銀行の金券を鮮銀に繼いだのも、君の總裁となつてからの事である、支那の投資、支那への發展、何れも君を迎へてから目立つて來たのである、預金、貸出數字の躍進したのも此一兩年來の事である。

▲之等の進展は、君の采配からのみ出たのではなからう、時勢の要求もあり、事も運ぶ譯に行かぬ、政府の方針に順應した既定の進展でもあつたらうが、重役の力も大いに認めねばなるまい、然し乍ら朝鮮銀行が君の總裁時代に入つて著しく膨脹したのは、歸する所元締たる總裁の方針決裁その當を失はず、進むべきに進み、とるべきにとつたからであり、結局總裁の手腕を最も多く認め入れてよいのである。

混亂の露國　專制化する過激派（一）

陸軍記者　早川巳之利

◇露國に起つた過激派運動なるものは、人類の自由、私有財産、資本的經濟組織に對する、根本的破壞革命であつた。併し其結果は專制政治の羈絆を脱して衆愚の壓制がこれに代つた、[illegible]マルキシズムの即[illegible]可き[illegible]組織の[illegible]解放、幸福、平和[illegible]が實現した。換言すれば自由は更に大[illegible]である、[illegible]るものが、偉大なる叉それだけ偉大なる矛盾撞着を見るに至つた。記者は混沌の露西亞を描寫するに當つて先づ過激派の專制と云ふことに就いて一言したい。

◇歐露に立籠りつつある過激派は北路、南路、ヴォルガの各方面から叉過激派軍及び聯合軍が包圍し、形勢日に日に險悪を加へつつあるため、主義のために闘ふと稱して、強制徴兵を行ひ、百萬の壯丁をして彼等の所謂『自由の意志』に非ざる戰ひを強ひ剰へ軍紀の厳酷を計らんが爲には如何なる慘虐手段をも辭さない、オムスクの無線電信所に於て受信したるものの其他の情報及び捕虜の談を綜合すると、莫斯科を中心として既に四十箇師團の編成を完了し、目下編成中のもの二十三箇師團に達し、兵數約百萬内三十五萬は義勇兵、其他の半數は獨逸人、マジャル人、支那人、其他韃靼人、朝鮮人、エストニア人等の異種族より徴集したもので、而して是等の兵卒は戰爭終了まで除隊せしめず、萬一逃走を企て、戰ひを拒むものあらば、[illegible]

◇合法裁判といへば體裁は宜いが、實は無學無識の兵卒より選ばれた[illegible]が生殺與奪の權を持つてゐるのだから不法裁判たるを免れぬ、最近ウハア附近に於て捕はれた赤衞軍の一將校の話に依るとカザン近傍の戰爭に於てペトログラード第二聯隊が怯懦の爲め命令された日時に地點を占領し能はざりし故を以て裁判に附せられ、其結果聯隊の幹部悉く銃殺に處せられた、然るに調査の結果右の宣告が不當だつたので、新檢察官は舊檢察官に對し銃殺の宣告を下した、赤衞軍の軍紀なるものは概ね斯の如きもので何事に因らず常軌を逸して居らぬものはない、軍隊既に然り、其他百般の施設も恐く出鱈目で、一文不通の委員が決議することが直に法令となつて施行せられるが、其法令なるものが成年の婦人は肉の解放し政府の定めた男子と結婚すべし、若し應ぜざれば罰するといつたやうなもので、之れが爲め良家の子女は、誇りとしてゐた處女の貞操を蹂躙され、堪へられずして避難するものが多い、記者がウハアに着いた時、男の姿に變裝した婦人が父や從者に守られて峠から歐露から逃げて來たが、彼等は過激派の暴虐に遭ひ、飛ひて居た、此一例の如き、人類の自由と主義とマルキシズムの矛盾を遺憾なく暴露し、且つ過激派が如何に專制化しつつあるかを窺ふに足るであらう、

朝晴雪　松岡萍水

餘寒萬甲挪雪看、積雪新晴旦遠譜、初日流輝天地靜、玲瓏偏使聖安心。

羊　坂田九峯

春中眠起如篩、雪色長堅短夜縁、未今仙人吐初翹、便當御穀瑞成園。

[illegible]裁判に依つて或は極刑に處し、或は其家族を罰する[illegible]取組の障害を[illegible]と云へり

本紙定價　廣告料金　[illegible]
發行兼編輯人　風間直得
印刷人　小川三之[illegible]
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號[illegible]

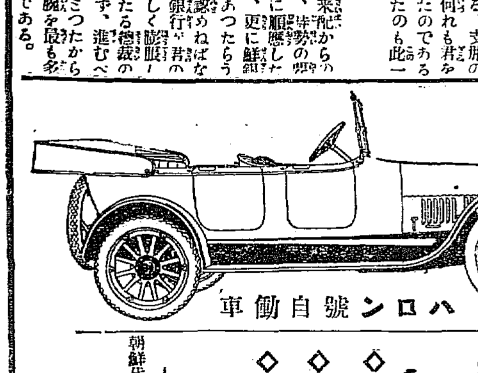
大々高評忽卅版　最新刊　ポケット形約三百頁美裝製本堅牢
式辭演說　祝辭挨拶
五分間演說集
當分の内特價割引送料共金五十錢
日本青年通信社

謹告
今冬發電所故障以來御迷惑相掛け誠に相濟み不申候漸く修理完了本日より從前通り御使用被下度此段謹告仕候也
大正八年二月二十三日
京城電氣株式會社仁川支店

法制研究會編　發行所　京城本町　ウツボヤ書店
日鮮人
文官普通　判任見習　雇員巡查
試驗問題集
菊半形紙數二百二十頁　定價金五十錢　送料四錢　代引七十錢
賣捌　京城日報社　松堂書店　大阪屋號書店

堀井膳寫版
堀井を冠せるもの斯界の白眉なり
京城南大門通一丁目　堀井謄寫堂京城出張所　電話長四〇二番　振替京城一〇五八番

交配種編　蠶業講義錄


ハロン號自働車
輸入元　大連　西川光太郎商店
◇經濟的　◇體裁優美　◇器械堅牢　◇燃料少量　◇實用的
朝鮮代理店　京城永樂町二　榮洋行　電話長一一四七番

生徒募集
咸興高等普通學校

最新刊
朝鮮法規提要
一代女
裏面から

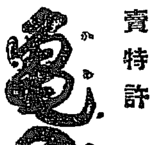
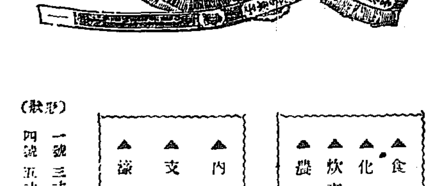
京城本町一丁目
大阪屋號

入札拂下
大正八年一月　李王職

入下一品　一日十俵搗　精米麥機
砂川製臼所精米機部

ベント式金庫
京城　熊平支店　電話長三二一六五番

宮内省御買上品
牛乳に混ぜて召上れ
効力母乳以上の
國產　子供印　滋養糖
滋養糖を牛乳に混ぜれば母乳と同様の効果をなし牛乳の總ての缺點を補ひ、又重湯其他乳の代用物に混和して小兒の腸胃を調へ體力を増進し老人病人病後の方に用ひて消化吸收を助け衰弱を恢復す！本品は牛乳混和料及小兒營養料として各地小兒科專門の病院にて賞讃を得たり

一躍して　舊習を脱し
世界的臺所の重寶品となる
包裝
新春早々　緣起よき
專賣特許


亀の子束子

亀の子束子の（用途）と（販路）
▲食器洗滌用　▲什器洗滌用　▲化粧室洗面所浴室備付用　▲炊事器洗滌用　▲室内備付用　▲農事畜產其他諸工業用
▲内地全部と朝鮮　▲支那　▲印度東洋全部　▲濠洲　▲北米　▲南米
（形状）一號三寸五分　二號四寸　三號四寸五分　四號五寸五分　五號六寸五分
本舖　西尾商店

□御名代は閑院宮
並に同妃殿下御差遣あらん

李太王殿下國葬に就ては畏き邊の御名代として御差遣ある可き模様にて故李太王殿下とは最も御親交ありて屢次御交情を重ね給へる閑院宮載仁親王殿下に仰付けらる可く從つて皇后陛下御名代には閑院宮妃智惠子殿下に御沙汰あらせらる、趣き洩れ承はる（東京特電）

第四十一帝國議會

衆議院（廿三日）
▼豫算委員總會

廿三日午前十一時豫算委員總會開會、首相以下各閣僚臨席せるも其他の大臣全部は出席せず先づ

▲齋藤珪次氏（政）委員長席に著き豫算委員總會の質問は一週間續行し夫より分科會に移り五日間にて之を終了し度しと述べ直ちに質問に入る劈頭

▲加藤政之助氏（政）起立自然增收に一億三千萬圓を見積りあるも休戰と爲りたる今日果して豫定の收入ありや豫算の積極的編成は危險なり若し收入不足の時は節約に依るや將た又借金政策に依るや乃至財稅に依るや如何六億餘圓の公債募集借入金は不能たる可き事及び在外正貨通貨收縮其他に就き縷々質問す之に對し

▲高橋藏相 は（一）今日の收支は一時的にするの外途なし（二）歳入見積りに就いては可能なりと信ず（三）事業費の迄も吸收し難きの恐無し（四）戰後各國經濟研究の上ならでは正貨制度の改正を爲す能はず（五）通貨收縮は不急の助長の爲め通貨收縮が何時なりしか（六）公債の第一手段とは信ぜず（六）公債利子課稅に就ては尚ほ何等考慮し居らず（七）稅制整理は將來相當の調節を樹つるに至る可しと述べ更に露國再借款に就ては露國政府成立せば陷み倒す事無かる可しと高橋男一流の答辯を爲し最後に直接稅、間接稅に就て答ふる所あり午後零時半一先づ休憩

午後一時四十五分再開加藤政之助氏の質問を續行し政府は製鐵所收支附加見積の確實なりや又六億餘圓の公債募集に就き確たる見込ありやと質せば

▲高橋藏相 は何れも確信ある旨を答へ次で加藤氏の東洋に關する通貨の高に對し藏相の答辯に對きを缺くことを述べるに對し藏相と二三問答し更に加藤氏は現內閣成立後日尚淺く難局面に抱負經綸を表す能はず言ふ此抱負經綸を述べ披瀝されたしと迫る

▲原首相 大體を述べんとて第一食糧問題に次いで教育交通國防等は戰後各國の情勢變化に伴ひ計畫せざるべからず故に短時日の總ての計畫を實行する能はずと答ふ加藤氏進んで戰時中發展せる貿易を戰後維持するに就き何等かの考案ありやと問ふこれに對し首相は貿易練習生の增加粗製濫造の防止等種々努力し居れりと答ふ之にて加藤氏の質問終る次いで

▲鈴木梅四郎氏（國民）起ち民主思想の政治に就き首相の所見を質す

▲原首相 宇內の形勢は物質的にも精神的にも變動あるべきも變動對應策に就ては具體的に說明する能はずと答ふ之に對し鈴木氏は今日法律は民心に適合せざるもの多々あり改善を要するもの多々あり根本的改善を加ふる意思ありやと問ふ

原首相 俗論に迎合せざるも國家の爲め改善を要すべきものは相當改善を加ふべしと答ふ續いて鈴木氏は米騷動の一因なる商取締に關し首相の意見如何と迫る首相は同じく昨日當場より答辯せるところの如し之が取締を警察に一任するは可なり（東京特電＝以下夕刊へ）

▼本會議

日程平凡なる爲か傍聽席は四分の入りに過ぎず議場亦空席多く午後一時十五分開會諸般の報告終りて議事に入る日程第一

●會計檢査院法中改正法律案●

●裁判所構成法中改正法律案●馬場法制局參事官提出理由を說明し岩崎勳氏（政友）の動議にて九名の委員附託

●第一回國勢調査施行に要する地方經費國庫支辨に關する法律案●統計局長說明委員附託

●戰時利得稅法中改正法律案●高橋藏相說明委員附託

●大正七年勅令三七三號（承諾を求むる件）●山本農相、米穀關稅撤廢の緊急勅令にて米價調節の爲め公布せりと述べ十八名の委員附託

●穀類收用令（事後承諾）●山本農相米價調節の爲め前議會閉會後提出せる緊急勅令なりと述べ委員附託

●家祿奉還處分に關する法律案●

●沒收處分を受けたる者に對する法律案●

右一括して川原茂輔氏（政友）提出理由を說明し委員附託之にて一時三十五分散會（東京特電）

◇國葬費
兩院滿場一致即決せん

李太王殿下國葬費は廿三日內閣にて十萬圓を計上したるが閣議決定後御裁可を奏請し勅令を以て公布さる可し目下議會開會中に就き國庫金より支出せず追加豫算として出すの手續を經る筈也兩院は滿場一致即決す可く同時に葬儀掛の長、葬儀掛の任命をも宮內省、李王職、朝鮮總督府、內閣、陸海軍省等より任命し多く國葬に關係ある人々を詮定せらる可し葬儀掛長には末松子、井上侯等の呼聲あり石原宮內次官、高橋內閣書記官長、宇佐美總督府內務部長官、國分李王職次官、李王職事務官等の任命を見る可しと（東京特電）

◇國葬委員任命されん

高橋翰長、伊藤式部次長、仙石宮內省官、宇佐美總督府內務部長官等他宮內省並に內閣の書記官數名は廿二日內閣會議室に參集し李太王殿下葬の儀に付き凝議せるが委員任命は廿四日朝又は同日夕刻發表さる可く費用は十萬圓乃至十五萬圓なる可しとの說あり（東京特電）

◇勞働保護
會團設置計畫

戰後の勞働問題、失業者救濟の爲め二十二日東京商業會議所、實業聯合會、工場問題研究會の三委員數十名は議所に會合し商議總會に出席を議せるが名稱を財團法人勞働保護協會とし資金五十萬圓本部を深川に支部を各所に置き勞働者の給を調和する計畫なるが會社

◇板垣伯陞爵

一兩日中親總督府副長に藤山雷太、星野錫の兩氏內定せり（東京特電）

拜辭說

憲法三十年記念祝典を機とし板垣伯に陞爵の御沙汰ある可しとの說あるが右に對し伯は華族制度の存在を民意上達、君意下達を阻礙するものとし少くも現在の華族制度を改め一代制と爲す可しとの主張より其說に對し拜辭の意ありと傳へらる（東京特電）

◇世子釜山御上陸
御航海中は一歩も室外に出でさせられず

二十三日は午前より釜山の空模樣勝ちなりしが午後八時四十分聯絡船高麗丸にして李王世子殿下御搭乘の御船は約三十分にして東萊の響きを傳ふれば一般に御上陸の先づ京城より御出迎ひの爲め出張せる横溝事務官其他及び釜山若松府尹宮村警察署長赤澤憲兵隊長等に迎へ中上げ殿下には世子殿下には直ちに停車場ホテル特別室に入らせられ横溝事務官其他諸員御見舞申し上げたるが殿下には御喪中の事とて一般官民の御見送は名刺を取纏めて殿下に呈上したり斯くて殿下には十一時三十分各隨員を從へさせられ御一車に成りたり殿下御少憩中高事務官は語る『殿下東京御出發の際は父王殿下御重患のことにて甚だしく御心痛在らせられしが山北驛に於て薨去の御報達するや殿下には更に深く御悲嘆遊ばされ爾來沿道各驛にて府縣知事市長等御見舞申上げたる際は御喪中の事とて小官代つて是を受けたり又廿三日下關港御出帆後海上は至極平穩なりしが殿下には一歩も室外に出でさせられざりしなり』。〔尚は李太王殿下御葬儀其他に關しては歸城の上ならでは判明せず（釜山特電）〕

府成立せば陷み倒す事無かる可しと高橋男一流の答辯を爲し

かに悲しき御歸鮮の第一步を踏ませられたり。

▽今朝京城御著

李太王殿下薨去の報に接し急遽東京御出發御歸鮮の途に就かせられたる李王世子殿下には國分次官、高事務官以下を隨へられ廿三日夜釜山御上陸、鐵道ホテルに御少憩の上午後十一時釜山驛御出發愈よ今廿四日午前九時廿五分南大門驛著列車にて御歸城遊ばさるべし

◇米國大使通過

駐日米國大使モーリス氏は西伯利に赴く途次二十三日夜入港聯絡船にて釜山上陸十一時三十分發列車にて北行せり（釜山特電）

◇新義州府尹弔電

李太王殿下薨去に就き石原新義州府尹は府民を代表して弔電を發せり（新義州特電）

◇鳥川中將視察

陸軍技術本部長鳥川文八郎中將は二十三日兼二浦三菱製鐵所を視察せり（兼二浦特電）

◇國葬決定

李太王殿下の葬儀は愈國葬に決定し右經費約十萬圓の追加豫算帝國議會に提出さる可し（東京電報）

◇軍事會議協議會
露國問題＝講和豫備手段

聯合國最高軍事會議は廿一日長時間に亘る二回の協議會を開き露國問題を審議し又一般講和會議の豫備手段を決定せり（巴里電報）

◇獨國領袖殺害さる

アムステルダム來電＝十九日伯林電報に依ればスパルタカス團領袖は逃亡を企てたるも何れも捕縛せられたる四名のスパルタカス團領袖は逃亡を企てたるも何れも殺害されたり（東京特電）

◇獨國民議會選舉結果

其筋著電＝獨逸國民議會の選舉は概して靜穩裡に施行されたる廿日の情報に據れば多數社會黨は良好の成績を擧げ民主黨亦良成績なり中央黨は巴威にて優勢を占め右黨は成績振はず獨立社會黨は全然失敗せり選擧の結果穩健の如くなれば多數社會黨最多數の大臣を占む可しと觀測さる（東京特電）

◇西國戒嚴令
全國に戒嚴令布かれたる結果西班牙は干涉方法を考慮し軍艦を派遣せり（香港電報）

◇カリフォルニア半島買收案

カリフォルニア州會議は墨西哥カリフォルニア半島買收を勸告する決議案を可決す可しと（東京電報）

備考 カリフォルニア半島は墨西哥西方狹長の半島にして北太平洋沿岸に近く米國が墨國より借受けたる海軍根據地あり

◎鑛業願は稍や著實
濫願は減せん

總督府商工部に於て取扱ひたる大正七年中鑛業登錄事件數は受付件數四千七百十三其の中登錄濟となれるもの三千六百三十六件此の中登錄稅納付額二十三萬九千三百四十七圓四錢にして之を

▲大正六年に比すれば

受付件數に於て六百五十九登錄稅に於て六萬五千六百五十三圓八十六錢を增加せり又特許請求事件數は鑛業權の簿及、抄本交付七十件數料百三十五圓、圖面の謄本交付四十件此の範圍一億三千九百三十萬數料二千六百六十一圓にて鑛區圖閱覽五百七十五件手數料三百八十五圓合計七百五十九件手數料八百三十圓之を前年に比すれば件數に於て四十一件手數料に於て百三十二圓を減少せり右に就き係者の談に問く『昨年の朝鮮鑛業界は既に許紙揭載の如く一進一退を免れず甚だ亂脈に、斯業に取りて決して喜ぶべき現象では無いが鑛山の出願方面は前年に比し稍

▲著實の度を加へて

來たことは喜ばしい現象である數字の上から見ると鑛業の設定出願も普通に願ひ辭せらる、ものは大正六年受付件數五百六十四に比べて約三百件の減少して居るが大正六年には何人も知る如く朝鮮鑛業界に於ける總ての社會階級を通じて猶も杓子も鑛山々々で鑛物賦存の狀態には何ら見る處なく濫願の行はれた時代で全然研究もせずに出願して當局では此の點に非常に困難を感じたが斯る濫願は許可失効出願却下或は出願棄等の結果を來し與に朝鮮の鑛業發展にはも寄與の見たる事はなかつたので本年は出願は數字のみを以て律する事は出來なかつたのであるが本年は一時濫願熱が冷却した爲此出願が減

▲調子を整へて

來た事は事實であると然し未だ全く濫願時代を過ぎたとは云へぬと云ふのは不受理事件數の多い事を以ても判る然し當局も平調に返らんとして居る今日であるから本年からは出願も眞面目なものが多くなり濫願は著しく影を潜める事になるであらうと思ふ』

◎鮮銀支店新營

朝鮮銀行各地支店の新營狀況を聞くに約四十萬圓を投じたる大連支店は一昨年起工以來その進捗を急ぎつゝあるに付本年中には竣成すべく又奉天支店は目下設計を急ぎ居れるが總て終了したるに付遠からず新築に著手すべきが工費約七十萬圓を投じ鐵工は明年に入るべし又近く營に著手すべきは長春開原四平街の三支店にして長春は既に入札を終り他の二店は目下設計を急ぎ居るに付今春著手すれば年內に竣成すべしと

◎直隸鐵鑛採掘

東方時報によれば陸宗輿氏は陸商工部より官民合同のリウエン公司許可を得て株式募集に著手せり

◎仁川期米波瀾

二十三日後場の仁川期米は前場の先限寄附き三十六圓三十九錢高値を示し乃ち四十錢を示したるも大阪の安移りに際りの昂騰に商物積みその勢こして二節三節と漸落し安値三十六圓七十錢に打止めたるも相場は日先き大阪相場の如何により若干の押しもあるべきかと

◎白川中將著期

新任陸軍士官學校長前朝鮮軍參謀長陸軍中將白川義則氏は目下滿洲方面へ出張中なるが二十七日午前八時南大門驛著入城一兩日滯在の豫定なりと

◎地方委員會

高等土地調査委員會にては二十三日午後一時より總督府會議室に於て第五回委員會を開きたり

◎植村博士一宴

總督府醫院外科部長醫學博士植村俊二氏は二十三日午後七時より朝鮮ホテルに官民有力者を招待披露宴を催せりデザートコースに入るや植村博士の挨拶に對し小原農商工部長官の鄭重なる祝辭あり次いで芳賀院長の發意にて植村博士の人格技倆學識を激賞せられ且つ博士の前途の健康を祝し賓客は盃を擧げ博士の健康を祝し午後九時散會せしが來賓は芳賀、長小泉長官、關、鈴木、佐藤、室谷、等博士外約五十名なりき

◎前丸就航

朝鮮郵船會社にて越後丸の坐礁後代船として「御前」肥前丸（約九百噸）は二十日神戸にて受け渡しを行ひ直ちに就航せしめしが今後北鮮方面に就航する由

◎造船獎勵問題

遞信省に於ける造船獎勵法は戰時中造船事業異常の活況を呈し新造船價の如き噸當り千圓と云ふ空前の高價を唱へ隨つて當業者の收益莫大なるものあるに鑑み遞信省にては斯る狀況の繼續する間は

▲獎勵金を下付

するの必要なきのみと爲し昨年九月限り造船獎勵法を中止することゝなりたるが其後間もなく休戰條約の成立となり依つて船價は急激なる下落を來し且つ內地製鐵事業を保護する爲め輸入鐵類に關稅を課し居る政策と造船事業の發展とは全然兩立し得べき性質のものにあらざれば早くも造船獎勵法を復活して之に保護獎勵を加へざる限り前途の經營は甚だ困難なるべき狀況を呈するに至れり而して遞信省に於ても何か獎勵方法を講ぜざるべからざる必要を認め目下考慮中なれば造船

▲唯時期の問題

にて早晩獎勵法の復活は見るべく若し之を復活するとせば獎勵法の復活は見るべく若し之を復活するとせば何れも二十一年間は如何なる獎勵方法となるかは未だ全く豫測し難きも今日の所にては何等確實なる方法に在りては遂に之に依つて廉なる船舶を建造し得らるべく隨つて本年中には之れに獎勵金を下付するの必要あらざるべく假令從前の通りとするも噸當り十一圓乃至二十二圓位の獎勵金を受けたりとて船價變動の大なる今日殆ど何の足しにもならざるのみならず造船獎勵金算定の基礎となるべき鋼の關稅は近く改正せらるべく又運賃は如何なる程度に落付くべきや尙未だ全く豫測し難き事情あり隨つて新事態に適應する獎勵金の算定不可能なれば今期議會へ造船獎勵法の提案は之れなかるべしと（東京）

人事消息

▲宇野正臣氏（砲兵中佐）廿三日夜入城

▲木村三郎氏（砲兵大尉）同上　▲福田久次郎氏▲松浦島千人氏　廿二日夜退城

▲岡田徹平氏　廿三日夜退城

◇鳥瞰錄

總督府內務局等官舍の電話番號が新番號簿に職名で出てゐるため兎角の批評を生じた事は一昨日の本欄（紹介した▲遞信局側—つまり番號簿を造つた京城郵便局の電話係りは總督府秘書局から通知して來た通りに番號簿に載せたものらしい▲と云ふのがある『六一五番』かう云ふのがある『六一五番』から總督府技師官舍』技師は數十人あるがドノ技師であるか、百人中九十九人まで間に合ふ、唯僅に泉町にある坂出勅任技師だらうが思ふだけだ▲『六一八臨理課』の官舍』これは遞信局の臨理課長官舍で遞ひ易い、然しこれは總督府に於ての臨理課が總督府には臨理課があるか、幾分よいが▲『五二八番『通譯官舍や『二二四ケ番』の參事官官舍であるのは前者は藤澤譯官であり、後者は大家事務官々舍だらうが、通譯官も幾人もあり、參事官も幾人もある、何人の一寸判斷致し兼る▲斯樣な例は彼ほど得られるが、要するに總督府官舍の電話番號は通知した人が幾分考へが足りなかつたやうだし受け附けてその儘のせた京城郵便局も公衆の爲めの番號簿たる事をおろそかにしたと云ふ嫌ひがある▲不注意は總督府の通知者並に郵便局の係員にあつても、何だ彼だと云はれるのは外部に多くの關係を有つた矢野監理課長である乃で課長も『此次にはよく注意させる、つまらぬ事のやうだが一般には中々重要の關係があるから......』と云つてゐる▲尤も外國には電話に加入してゐても、その番號の公表を絕對謝絕せる者あるとの事、それから見れば、いくらか輪郭が判るだけ總督府官舍の電話番號はよいわけだ▲兆官職名千錢によつてるだけ總督府や警務局の考へならうとする總督府官舍を官職名にしたならばすべて官舍を官職名にしたならばさうだらうと云つてゐる人もある▲本府官舍は職名、所屬や署の官舍は人名千錢と云ふのは一寸見ると公平でないやうだ

▽下の關御通過
李王世子殿下は廿三日午前九時...

◇家族慘殺
...び子供三名を慘殺せる爲め目下領事館內...

◇西伯利...

哈爾賓　二十八度五
奉天　四度
吉林　二十二度
...三十五度

下關期米特電
廿三日...

仁川期米
二十三日後場...

仁川米豆取引所
二十三日の三月限...

▼特賣廣告▲
▲紬、繪絹 但し在品僅少 尺二付 金五十五錢
右均一特價を以て販賣仕候間至急御下命願上候要地方送料一二〇三番
京城日報代理部
振替口座京城二〇〇番

京日案內
▲市內京城大和町三ノ三二 起本屋
▲通士地家屋...
京城大和町三ノ三二

給仕入用
十五六歲位の內地人にて小學校卒業程度のもの希望者は本人來談あれ
京城大和町一丁目十四番地 大倉組出張所

醬油釀造所讓渡
當利益ある老店家屋敷共九千圓以下投資希望の者は至急來談あれ

ほねつぎ
一切の治療御依賴に應ず
明治町 柔術道場

女事務員二名入用
市內某外國會社にて珠算に經驗ある者を採用す希望者は京日社內へ照會あれ

鐵材 鋼材 浪板、平板 針金、洋釘
總代理店
白神洋行
ペイント、油類一切
コークス、セメント
耐火煉瓦、モルタル
スコツプ、シャブル
帶革、ロープ
機械、工具
附屬品其他

急轉直下 織物大暴落につき半直段
半直段 停滯品投賣
絹大島絣
大島絣
純子
綿入大島
縞仙
兵兒
縮緬兵兒
セル
盡裏
物織別所

朝鮮總督府
一月廿四日以後ノ...

カーバイド
並に各種ランプ及附屬品
山中カーバイド 滿洲總代理店
山陽商會
京城南米倉町十七番地
電二一九二振替京城三〇二番

塗料船具山林金物
土工用器具及材料
雨覆天幕製作販賣
近江帆布會社製品
朝鮮一手特約店
同免許船燈
製作販賣所
旗印石油 合組販賣所
仁川本町一丁目
村谷本店
支店
仁川府支那町 村谷石炭部
平安北道義州城內 義州印刷所

宮內省御用達
兵庫縣灘魚崎 山邑太左衛門釀造
櫻正宗
サクラ正宗
京城明治町二丁目
櫻正宗發賣元 山邑京城支店

▲軍隊拂下被服類▲
京城府北米倉町
電話千百十二番
村上商店

木材新荷着
北海道松一分五厘板數萬坪
右仁川海岸著荷
產紅松良原木
右京城著荷
丸一材木店
京城府黃金町
電一二三八番
出張所 新義州本町

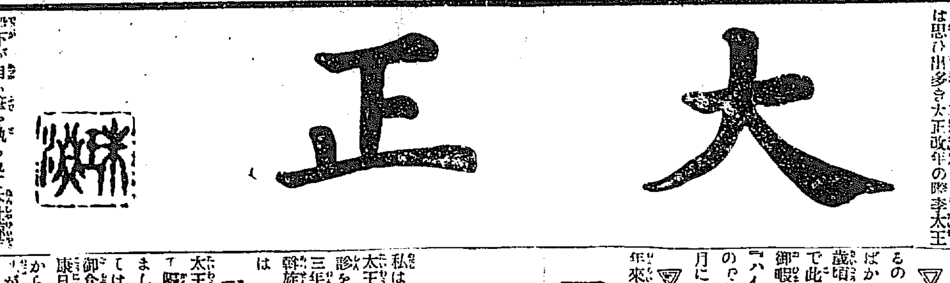
資本金參百萬圓
（明治三十八年設立）
當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
株式會社 漢城銀行
京城南大門通一丁目十四番地
長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
支配人 石鎭衡
電話長六〇一 振替口座京城二一〇五番
▲支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門、釜山、東京
▲出張所所在地 鍾路、東萊

◎李太王殿下御發祥の跡
李鍝公邸には御幼時を語る臥龍松がある

市内慶雲洞なる校洞普通學校の上に、東に入る些さやかな露路の突き當りに御賜閣と云ふ純朝鮮式の殿閣がある、間口二十餘間、四周は低い温突が軒を並べ、見るから古色蒼然として居るが、是ぞ我李太王殿下が今から六十八年前(哲宗五年)に

▽呱々の聲 を揚げられた思ひ出の地である、一體慶雲洞は昔見る影もない貧しい窟で李太王

★李太王御筆蹟 本筆蹟は思ひ出多き大正改年の際李太王殿下が自ら筆を執られて本社へ下賜せられたるもの也孰歎は肉を用ゐ珠淵は雅號なり



殿下御生誕の當時は殆んど草葺の家根ばかりであつた、李太王殿下の御父君太院君は機未だ到らず此草家根の間に雌伏して居られたのであるが其御住居は今の雲峴宮即ち

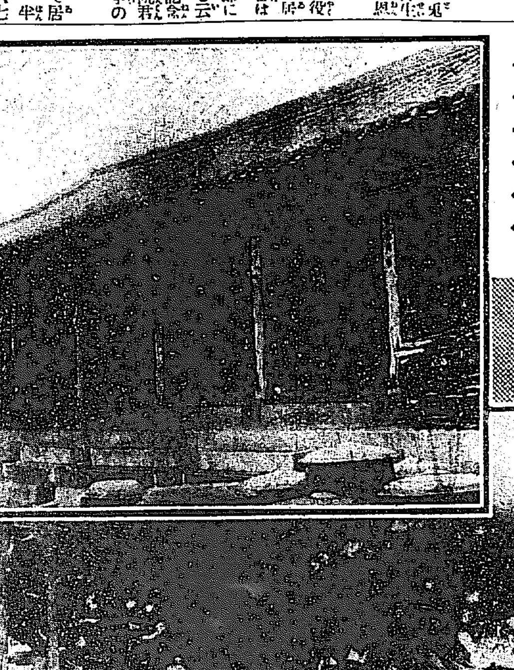
▽李鍝公邸 であるが、太王殿下は或る御事情で御賜閣で御誕生になつた、尤も御賜閣は雲峴宮も始めから彼んな立派な建物ではなく李太王殿下の御即位後に御改築になつたのであるが兎に角、御賜閣のある處が李太王御生誕の跡たるに違ひはない、此御賜閣は

▽從來奉審 と稱する役人が其四周の温突に住み込んで居て管理したのであるが今は奉審は内人(女官)と代り御賜閣の内部には種んな御調度が飾つてあると云ふ事だ、此御賜閣と好一對の記念は雲峴宮の松である、曾て太院君の御居間であつたと云ふ我在亭の前に數百年も前から

▽臥龍の枝 を張つて居るので、幹の大きさは一と抱へ半ばかりあるが李太王殿下には六七歳頃から御即位になる十二歳頃まで此の松を侶伴として親しみ玉ひ御暇さへあれば馬乘りになつて『ハイヨ〜』と打ち興ぜられたものである、それで御即位の年の九月には特に此松を御訪問の上

▽正二品の 位を賜ふて年來の御奉公に酬ひられた、其太院君は是を記念する爲め其松の根方に『慶宗碑』と云ふものを建てられたが此碑は時の觀象監事趙斗淳の撰文、南溪守禦使金炳冀の揮毫に係るもので今でもまだ殘つて居る、あゝ、御親愛の松之れも最う今では悲しい思ひ出の種となつた

◇◇◇◇◇◇ (上)李太王御生誕の跡　(下)御親愛の松 ◇◇◇◇◇◇



▼御記憶力は非凡に渡らせらる
李太王殿下の御平生
德壽宮囑託醫　神岡一享氏談

私は八年前に總督府醫院に奉職し太王殿下御不例の場合には時々拜診を承はつて居りましたが大正三年九月時の藤田總督府醫院長の斡旋で德壽宮の囑託醫に轉じ其後は

▽一週に一回宛 太王殿下の拜診を承はる事になり暫くして隔日に拜診申上げることになりましたので太王殿下の御生活に就ては常に細心の注意を拂ひ御睡眠、御食事、御脈搏、御體温等は御健康日誌に記入してあります。昨年からは午前には安商浩氏、午後は私が拜診することになりましたが殿下には痔疾に惱まされて居たこともあつたが手術の結果平素は殆んど御全癒遊ばされ、其他に痔疾の後遺症等が

▽氣候の轉換期 毎に發し幾分御苦痛もありましたが之も手當を施せば直に御常態に復せらるるので全體として極めて御健康な方であられました。日常の御生活は極めて活潑で御記憶力は非凡に亘らせられ近侍の者も常に御感嘆申上げて居りました。殿下はまた佳く我々醫師の言をお用ひになり新らしい衛生問題などに就ても御熱心に研究遊ばす方でありました、殊に御留意遊ばした事は睡眠、食事等に就ては普通人とは違つて居りました殿下には夜の三時頃に至つて漸く御寝に入らせられ御就寝でも種々と近侍の者と御物語りがあり

▽夜を徹しても 一向御疲勞の色が無く、午前十一時頃に御起床あり朝食は大抵午後の二時から三時迄の間に召されます、御食事は別に召上れず菓子類や果物等をお採りになり晩食は夜の十一時から十二時迄の間に召されて居りました。成るべく刺戟性の食事は御避けになり毎週水曜日には洋食を召されるのが例でありました。そして實は偶に少量づゝ用ひられてゐましたが酒は一切召されませんでした。御尿量は一日平均千五百瓦乃至千八百瓦で時々私共は精査して見ても少しも病毒を認めませんでした。御通じも

▽極めて正順で 一日一回位、咯痰にも何等の異状はありませんでした。御視力は總て眼鏡に掛けて拜診したところ普通の人は四十三歳頃から老眼となるのですが殿下には老眼近視眼の徴は少しも無く全く正視眼ですが年に一回位は輕微な結膜炎に罹られます。それも點眼位で直御平癒になります。御體重は最近で十九貫二百匁、一昨年御壯健の時でも十八貫八百五十匁を下りませんでした。昨年の一月王世子殿下が御歸鮮になりました當時

▽世子の御體重 は十八貫四百匁でありましたが太王殿下には十九貫で居らせられたので王世子に向つて『お前は若いのに年寄りよりも輕いぢやないか。もつと運動して身體を大きくせねばいけない』と云ふ意味の事を仰せになりました。又太王殿下の御脈は軟にして寸滯なく少しも硬化せず脈搏は平均八十五乃至九十で、御體温は卅五度三乃至三十五度六位で普通人よりは稍低温でした。一昨年御胸部に鶏卵位の小さな腫物が出來て疼痛に惱まされたことがありましたが暫時にして御平癒になりました。殿下は前に申上げたやうに痔瘻に惱まされたのですが切開手術の後

▽漸次御輕快に 赴かせられ其後肛門右側に炎症を起し時々排膿がありました。然し御運動には何等御支障なく食事も普通に召され至極御健勝でありました。私は常に御運動を勸めて居りましたので殿下は晴天には咸寧殿附近を御漫歩せられ雨天には殿内を御歩行を遊ばされるのが例でありました。それで或時殿下御歩行の折倒れになつたこともありますので其後は靴底に凹凸を附け御歩行を安全にすることにしました。殿下の身長は五尺八分で御歯は二十年前に御食事中石に噛み當て前歯を一本お折りになつたことがありますが其他は皆んな揃つてお出でになります

御入浴は

▽一週平均一回 召されますが其時は微め寒暖計を湯に浸し三十九度位の加減にして御勸め致して居りました。殿下が御談話を好ませられたことは前にも申上げましたが近頃は殊に王世子殿下の御婚儀の談しを以て持ち切りの有樣で殿下が如何に王世子殿下の御慶事を御樂みになつて居たかで拜察せられます。御崩御の前日即ち二十日の如きも朝は安商浩氏が拜診し午後は私が拜診しましたが何等の御異狀なく只痔は痔藥だけでは治るまいとの仰せがあつただけで斯うした御異變に逢はうとは全く意外でした

▽御重態の當夜 午前一時頃殿下には安樂椅子に凭れて約一時間許り御腰掛遊ばされて居たのですが御嘔吐が起つたので當番の金典醫が御手當を申上げ續いて安商浩氏が拜診したから御薬を申上げましたが此時既に殿下は誰かと『お前』と仰られましたが此時既に殿下は昏睡に陥られ安商浩氏に對して『大丈夫だや』と仰られたまゝ、御言語が朦朧となられ遂に御薨去になりました

▼變化に富だ御一生
天資英邁に渡らせらる
子爵　趙重應氏談

嗚呼今や過ぎし私の中年時代は殆んど宮中に在つたので韓宮の事情は能く判らなかつたが少年時代——十二三の頃は侍講のやうな職務で親しく宮中に有り李太王殿下のお對手を申し上げた、殿下はもと

◇翼宗大王 の家へ御養子の御身分で當時の宮中と云へば趙大王妃と閔氏の外戚が取巻き政治一切に容喙し徒らに形式にのみ拘泥し政治の運用行はれず混沌として極まりなかつた、其中に殿下は成人されたが天性英邁に渡らせられ一例を擧ぐれば百官の家譜を悉く空んじられ『お前の先祖はこう云ふ人』『お前は誰の親類に當る』など仰せがあり御聰明の程窺はれたが環境の外戚は亂りに殿下御聰明を掩ふ事すら屢々あつ

◇政權を爭 ひ果ては殿

た、斯くて私は二十代より各地に命してゐたが舊臣一部の者を除けば私利に走り殺伐の報指命報なく云ふ大義明らかの臣なく殿下は極めて不遇の裡に日を送られたが幸ひにも我が皇室の御優遇によりて初めて平和の日を送られるやうになり更に梨本宮家との

◇御慶事も 目捷に迫つた今日せめてお孫さんのお顔でも見られたならばと私は遺憾に思つてゐる次第で世界の政治史に殿下ほど變化に富める背景を持たれた方は他にないと信ずるのであるが思へば昨年の拜顏が今はお名殘りとなつた

◇王世子御弔電

廿二日午後五時十五分東海道線山北驛より李王殿下に向け發せられたる王世子殿下の御弔電は次の如し

父殿下薨ずの報に接し驚愕悲痛涕涙痛切に耐へず不敢取茲に御弔意を表す　世子　垠

◎佛飛行第二團入京

佛國飛行第二團ジョセット少佐以下七名は廿三日朝東京驛着汽車にて入京東京驛ホテルに入れり陸相其他官民多數の出迎へありたり(東京特電)

◯東北大雪
陸羽線運轉不能

東京地方は今冬降雪歇まず青森山形秋田地方は最も激しく鐵道院に達せし報告に據れば奥羽線にては最高六尺七寸、陸羽線にては一丈一尺六寸(陸羽線にては五尺七寸あり極力除雪に努め居るも羽東線鳴子新庄間は終に運)轉不能となり何時開通す可きや見込立たず羽越線は辛うじて旅客車のみ運轉し居れり(東京特電)

◎虎疫猖獗

孟買にては流行性感冒に次で虎列拉發生し猖獗を極め居れり(孟買特電)

◎白米騰る
暴動相場現出

京城の白米相場は洞米不足の爲め殿米昂騰一方なるが廿三日一錢方値上げし小賣は特等米升につき四十二錢となり昨年夏の暴動相場を再現するに至れり

▼能ふ限り莊重に
破天荒の國葬儀と費額
＝某貴族院議員謹話

李太王殿下國葬費額十萬圓乃至十五萬圓支出ある可しと傳へらるゝが右は舊日に比し著しく諸物價の騰貴せしは勿論朝鮮に於る破天荒の國葬儀とも謂ひ又舊李王家御葬儀の壯大なるに鑑み到底從來の國葬費三萬圓や五萬圓の經費にては間に合はざる爲めなりと傳へらる、內閣にても此邊の諒解ありて首相、藏相間に目下額の調査中なりと尚今日の標準とはならざるも朝鮮王家の葬儀には多きは一百五十萬圓を支出せし事もあり妙きも五十萬圓を下らざりしなり李太王殿下の御最後を飾る可き御盛儀なれば上は先帝陛下及び今上陛下の大御心を恐察し奉り下は鮮人の心ある者の意を掬み出來得る限り莊重の國葬を擧げ度きものなりと(東京特電)

▽陸軍各部隊の御出迎

二十四日午前九時二十五分李王世子殿下南大門驛御着の際は陸軍側よりは在城各部隊長同驛に御出迎へ申し上ぐべしと

▽德壽宮御警衛

昌德宮警察署長橋本警視は目下德壽宮派出所に詰切り一日交代の巡査二十名巡査補二十名合計五十名を指揮し同宮警衛の任に當り居れり

▼御出迎は成るべく御遠慮申上げよ

廿四日朝は王世子殿下御歸城につき御出迎客夥しき見込なるが王世子には今回の御凶變にて太く御傷心の折柄多數の御出迎へは却て御迷惑に思はるゝ模樣なれば一般は成る可く御遠慮申上ぐる方宜しかるべしと

春場所東京大相撲成績表

東の方

地位	力士	成績	地位	力士	成績
關脇	對馬洋	[illegible]	横綱	大錦	[illegible]
[illegible]	栃木山	[illegible]	大關	九州山	[illegible]
[illegible]	常の花	[illegible]	小結	宮城山	[illegible]
前頭	鶴柳	[illegible]	同	大門岩	[illegible]
同	源氏山	[illegible]	同	釋迦嶽	[illegible]
同	駒泉	[illegible]	同	御西山	[illegible]
同	一湊	[illegible]	同	兩國	[illegible]
同	岩木山	[illegible]	同	綾川	[illegible]
同	錦洋	[illegible]	同	達の矢	[illegible]
同	八甲山	[illegible]	同	大の里	[illegible]
同	逆鉾	[illegible]	同	宇都宮	[illegible]
同	友の浦	[illegible]			

西の方

地位	力士	成績	地位	力士	成績
大關	伊勢濱	ヤヤヤヤヤヤヤヤヤ	大關	千葉崎	[illegible]
横綱	鳳	[illegible]	大關	朝汐	[illegible]
關脇	錦島	ヤヤヤヤヤヤヤヤヤヤ	小結	清瀬川	[illegible]
前頭	三杉磯	[illegible]	同	藤の川	[illegible]
同	紅葉川	[illegible]	同	大潮	[illegible]
同	大鳴門	[illegible]	同	黒瀬川	[illegible]
同	琴ヶ浦	[illegible]	同	若湊	[illegible]
同	大戸平	[illegible]	同	大の高	[illegible]
同	阿蘇嶽	[illegible]		小松山	ヤヤヤヤヤヤヤヤヤヤ
同	矢筈山	[illegible]	同	白岩	[illegible]
同	敷島	[illegible]	同	土州山	[illegible]
同	鬼鹿毛	[illegible]			

例　栃木山欄にて○清瀬川は栃木山の勝
例　清瀬川欄にて●栃木山は清瀬川の勝

◎一月場所は國技館
十一月竣工の筈

國技館の新築工程に就き設計者工事監督の一人たる葛西工學博士は十八日九段に於ける協會を訪ひ役員會に列席し工事の概況及竣工期を報告した右に就き根岸理事は語る、明年の春場所興行までに竣工の豫定で工事を急いで居る國技館の落成期は早くも本年十一月中に竣成する事を葛西博士が報告した鐵筋コンクリート工事を五月中に終へ八月一杯に鐵骨の組立と屋根を仕上げ九月中に石材工事を終へ其他の仕上工事は十一月中に全部出來る順序で博士が責任を負うて必ず期日を間違へないと言明して居る夜業で工事を進め竣工期日に違約すると罰金を取り一箇月間も延びると請負金の半額を沒收されるので來春場所には間違ひなく兩國の新館に移られる(東京)

◎對馬洋が大關になるか

東方の關脇對馬洋は協會内に於ける故實の一人で其風格と云ひ力量と云ひ大關として恥しからぬ[illegible]不幸場所運悪しく[illegible]栃木山は何れも[illegible]に進みたるに[illegible]地位を高め得てゐるやうな氣で世間の期待に反したやうな傾きであつたが近來益々大力士的の藝造を發揮し駒ヶ嶽、太刀山の壯時を彷彿させたやうな相撲振りとなり、此の場所の如きも黒瀬川に取從しをなして敗れを取つたばかりで鳳と預かり、千葉には七分の勝を示し七日目の三杉磯との相撲の如き水際立つた強味を現はし愈々大關たる價値を一層有力なるものとしたのである果然同日協會の有力者間に大關推進の內議が交され殆ど

▽決定 に近い間柄となつてゐるが力者の話に依ると『本來なら對馬關は疾くに大關になつてある力士だが今日まで遲れたのは甚だ氣の毒である、此の所も未だ打揚げた譯ではないから確定したことは云へないが今日までの成績では先づ大關に進めても何人も異議がないことゝ思ふ、彼の上背で力も相當に強く、小手投もあり吊りも寄りもあり、殊に堂々たる取口は立派な大關ものである』と對馬洋は其名の如く對馬の生れで同地の砲備隊の

▽砲兵 であつたのを當時の十二師團長だつた淺田大將に見込まれ出羽の海の門下となつたのである(東京)

▲輕暖 併し寒暖計は未だ下らぬ

十九日の低温は二十二日朝まで持越して同日の室外の温度が零下十五度を示し例年に比べると九度寒かつたのであるが二十日朝に比すれば暖氣も幾分和されて次第に春の一輪づゝの吹かみを加へて來る樣である、併し之は温度が昇つたといふのではなく西五八體の酷寒に幾分馴れた矢先へ風力が段々弱くなつた爲に寒さが幾分減ぎ好くなつたからである、此の原因は氣壓の配置に據る次第で朝鮮の中部から朝鮮方面に退いて居た非常に強大な高氣壓の示度が稍低くなつて微弱となりしのみならず其の位置が方向を轉換して南支那方面から強い力で占むるに至つたので二十二日京城では午後夜から曇天になりかゝつたが此まゝで低氣壓に變化するへなければ同樣の暖氣が繼續するのであらう因に十一日以來の温度を示せば左の如くである(京城測候所調)

日	(高)	(低)	(日)	(高)	(低)
十一	九.五	二.九	十二	三.七	▲七.四
十三	▲六.五	▲一一.七	十四	▲四.五	▲一三.〇
十五	▲八.〇	▲六.一	十六	▲〇.五	▲一〇.四
十七	三.九	▲一二.六	十八	一.五	▲一三.七
十九	▲三.一	▲一五.二	二十	▲一〇.二	▲一六.二
廿一	▲七.五	▲一六.六(大寒)			

(日まで)

◇中券の賞品授與式

中券では二十二日午後二時から町內翠樓で新年宴會を催したお客樣は券番役者、各料理店主、藝妓置屋の故者など合せて數十名、竪ふと先づ松井取締の挨拶があつて昨年中の優秀藝妓に賞品を授與した、受賞者は總て五人今日ばかりは戸籍面の名を呼ばれ一寸何れも美事な熨斗付きを抱へて嬉し相であつた、それから新年宴會に移つたが藝者連は花より團子の筆法で酒よりは先づ御飯をと盛んに箸を動かし腹を作つた上で御盃頂戴とひく〱に廻つて歩いた、餘興の福引は奇抜な趣向が多く一同ドッと大笑ひ斯くて目出度く散會したのは四時頃であつた、序ながら受賞者は一等秀千代、二等花勇、三等太郎、四等團長、五等秀次

(寫眞は秀千代が賞品を貰つて居るところ)

◎通運龜浦倉庫全燒す

二十二日夜九時三十分龜浦驛江岸線野積保管所前通運會社倉庫より出火し全燒十一時鎭火せるが風なかりしため驛には損害なきを得たる旨龜浦驛より滿鐵京城管理局に通知ありたりと

◎昌慶苑休苑　李太王殿下薨去に付王職昌慶苑は當分の間休苑する事となれり

◎佐藤病院長歸院　京城明治町佐藤病院長佐藤[illegible]氏は[illegible]研究中の處十二日歸[illegible]皮膚科肛門病科を併置して診療に從事する由

◎杉本氏夫人　[illegible]にて大邱[illegible]新聞奈良通信員杉本[illegible]氏夫人は[illegible]二十二日[illegible]

…れ午前十時半釜山經由連絡船にて釜[illegible]に向はせられたり(十日門司特電)

◇副領事瀨上怨治氏は[illegible]廿日夜發狂し夫人及[illegible]

◇米大使東京發　駐日米國大使モーリス氏は二十二日午前八時三十分東京驛發列車に[illegible]

▼[illegible]
▽零下廿八度半　頃日來寒氣も日に新になつて寒い[illegible]

長春　最高 一度　最低 二十一度
ボクラニチナヤ　五度　二十七度

[illegible]大阪安移りに接し[illegible]崩れ買物に漸く十三錢[illegible]

平均値段　一節　二節　三節　四節　[illegible]

印度財界不安　界不振の影響を被り往々 …… 依り我國綿花入貨替取組の圓滑を …… 勢なるが如く傳ふるものある …… る變態に接することあるも斯かる …… 爾し同國財界の窮狀に火焰を投ず
▲正金銀行當局の談 [illegible]
京畿面費決算 [illegible]

母と子（八十八）

北島春石作　森田久畫

破産（二）

昨夜の降雨が時ならぬ温かさを運んで、今朝早く起出で、見ると軒端に近い梅の老木も二三輪蕾を破つて、さすがに春らしい氣分が漂うてゐる。

しかし、去年の歳暮に迫つて會社が瓦壊した後、岸上雅巳は何處へ出ようと勤め口を奔走するでもなければ、この新春は浙騷旅行みすべき勇氣もあらず、ただ漠然として我家にのみ閉籠つてゐた。

極めて小規模の會社ではあつたが、ともかくも重役の一人として時めいてゐた頃は、朝に晩に人出入も繁く、家内には冷たい風が吹き通うてゐても、表面だけは常に陽氣な笑ひ聲が絶えなかつたが、この新春は年始の客もいと稀に松がとれると同時にドヤ／＼押し掛けたのは、不快さを增させる種になる高利貸の面々ばかり。

それに對して、深く兩刀を拂出す覺悟を極めはしたが、後妻のお藥は今更のやうに見苦しく狼狽したものだ。

夫婦の仲に世間並ほどの愛情がなくとも、秘密な關係を結んでより七八年にもなり、岸上家へ乘込んでからも既に四年目、良人が落勢の半ばは自分が擔ふべき筈なのに明日にも乞食非人に零落るやうに騷ぎ立て、財産の差押へを食はぬ先にと、懷寶から自分の衣類のみを撰分けて行李へ詰込む始末。

それを見て、雅巳は苦々しくはひつゝも、もう口へ出して何とも言はなかつた。そして『幸枝と二人とも愛し子まで儲けながら、このやうな汚れたる愛に惑はされ、志保子を離別したのは生涯の過失であつた！』と、先立つものは後悔の涙ばかり。

京城の名物（京城南大門通三）
カフエータイガーの洋食とすき燒

さうまで深く後悔しながら、意地は森泉の叔父にも縋らず、中川の實家へと出戻りの佗しい身を寄せてゐる志保子を尋ねもやらず、たゞ希望なき日を送り迎へると詫しさ。

母の志保子と無理に引離され、情容赦もなく岸上の家へ連戻された後、継しき母のお藥のみならず、邪曲なその母の血を受けた篤にまで、さんざ虐めて泣かされてばかりゐたが、今は一家の内が二組に別れ、幼きながらも眞心こめて父に深き同情を寄せてゐるのは幸枝一人のみ。

さうした優しい心を汲分けると、雅巳とても人の親の、何として幸枝を憐まずに居られようか。

▲尺八 ▲筝 ▲蓄アンペラ [illegible]
龍山三角地
金川商會
電話六四八番

『なあ、幸枝。』と、今しも庭先に一人淋しく遊ぶ幸枝を、老梅の木陰に呼寄せて『お前に苦勞ばかりかけて濟まなかつた……お父さんもやつと迷ひの夢がさめかけたが今になつては最う何うする事も出來んのだ。然し、その中には何とかして、お前が戀慕ふお母さんに逢はせてやるから、もう暫くの間辛抱してくれ。』

この四年にわたる長い歳月を、たゞ怕いとばかり思つてゐた父親の口から、優うした優しい言葉が流れ出でたのが、幸枝の身にとつてはどんなにか嬉しかつたらう。

『あのね、お父さん。』と、涙を一杯溜た眼に熱と見あげて『お母さんと御一緒にゐられるなら、わたし何よりも嬉しいわ。そして、學校へいつてもきつと一番にばかりなりますから、ほんとに早くお家へ戻るやうにして頂戴よう。』

『うむ、まつたくお父さんが悪かつた』と、雅巳は我が子にまで恥入りし體で『今日や明日といふ譯には行かぬまでもやがてはさうならべき運命なのだが……お父さんの行狀が善くなかつたので、以前のお母さんはとても戻つて下さらぬかも知れん。萬一そんな紛擾があつた場合は、お前もお父さんと一緒になつて、ようくお母さんにお詫をしてくれ。』

『大丈夫よ―わたし、今だからお話をするけど、あのお母さんはね、お父さんの事ばかり御心配なすつて、一日も早くお家へ戻れるやうにと、森泉のおぢい樣ともその話ばかりなすつて被在つてよ。』

『ぢや、俺は未だ叔父や先妻からも見捨てられんのだなあ。』と、我が手許へと幸枝を引寄せて、雅巳は無限の涙に打咽ぶ。

◎鮮人教員 内地視察團より（前承）

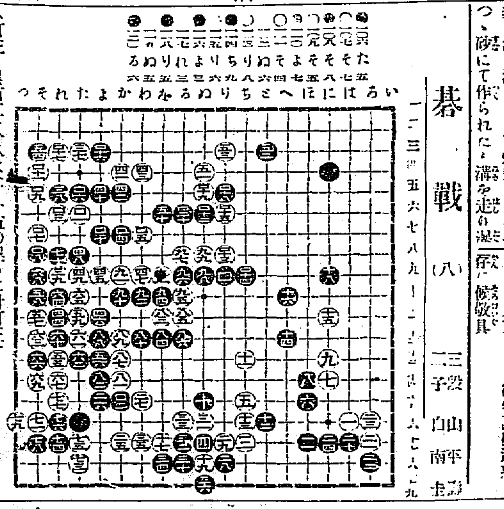
◇愈十二日は見學最終の日に御座候早朝熔鑛爐に駈けつけ八幡に參り申候同處には教育家諸君待受けられ製鐵所内職工養成所の主任鈴木君主として場内の案内及び説明の勞を執られ候先づ骸炭製造場及び副産物の諸製造場、耐火煉瓦製造場を始めとして順次見學致候熔鑛爐を見候折は都合よく熔鐵流出の時に出逢ひ壯觀を見るを得たるは仕合至極に存候ただ見る火炎の流れ沸々として灼熱の光を射つゝ砂にて作られたる溝を走り湯となりて鐵車上の容器に注ぐ樣到底形容すべき言葉も御座無候熔鑛爐をも見送風鞴室の大喞筒や發電所の大モーターに仰天し進んで鐵板工場レール工場針金工場等を順々に巡覽仕り候が恰もよし中華民國の徐上將の工場參觀に邂逅しその御蔭にて諸作業の實況を殘りなく見るを得たるならんと喜び申し候之等の工作に於て鐵は豆腐か餡かの如く見る／＼扱こなされ管となり線となるものにて之れに要する時間長きも十四五分短きは五六分に過ぎず皆々自働仕掛の器械にて行はるゝが故に從業人員とても至極少數に候は感服の外御座無候

◇此處には露國工場もあれば鑛形工場もあり岸壁には朝鮮支那よりの運鑛船の寄留するものあり起重機にて船中より之れを陸上げし案内にて速く熔鑛爐に運ぶ仕掛と成居り候場内は軌道六十哩に餘り全く京城より[illegible]あたり迄の距離に相當するは驚くの外なく其廣大想察するに餘りあることに候現に工場擴張中にて完成の曉には六十餘萬噸の製鋼の能力を有すべしとのことにて國家の爲めに慶ぶべき儀に存じ候

◇晝食の饗應をうけ枝光の正門より辭去し汽車にて旭硝子の工場に赴き申し候此處にても板硝子製造の實況を見學外の新知識を得申候夫より再び汽車にて門司を經て馬關に歸着し連絡船の出帆を待ち申候此の間に下關教育會の[illegible]君江藤少將閣下は親切なる一場の挨拶に門司より視學見送られ教育會長段をせられ候[illegible]より珍菓の贈られ出候處て出帆の時刻迫れたれば見送りの諸君に別れを告げ懷しき母國の地を離れて乘船仕り候海上は往路の如くには參らざりしも先づ／＼無事にて釜山に上陸し直に寒氣の加はれるに驚き四邊悉く禿山なると今更の樣に殺風景なるを感じ申候汽車北行するに連れ漸次人減じて南大門に着し候時は京城府北の團員數名と相成り申候十一夕の長文となり御判讀御迷惑と存じ候敬具

碁戰（八）

三段 山平　二子 白南



▲訂正 昨日の二（▲）は十五の誤りに付訂正す

□德壽宮殿下（哀悼歌）　角田不案

きんらんと光れる雲の奥を深み德壽宮の君去り給ふ
むつつきのあかときかけてねむるごとしづかにこの世さり給ひけむ
いより來て人等嘆けり君去りし德壽宮のゆるがむばかり
千百の人等よりきて嘆けるにはた泣き居るにかへらぬ御靈か
さむ／＼と睦月の風にひそみつつこの哀悼いやりところなし
（一月廿一日）

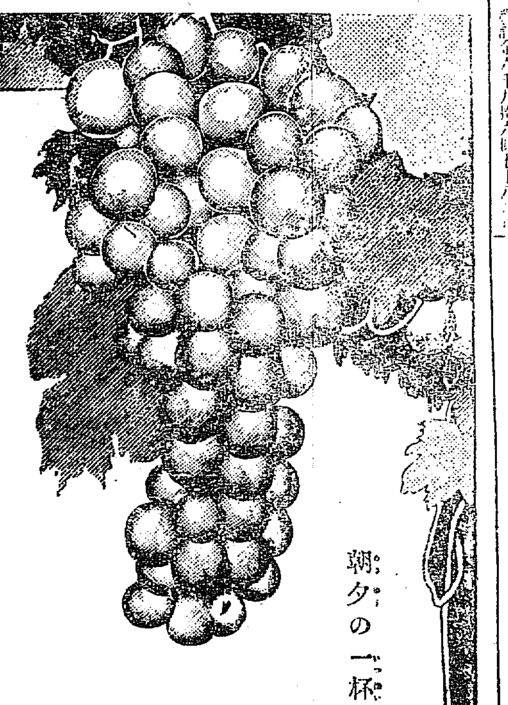
故鈴木校長弔慰及獎學資金寄贈者名（追加）

大邱高等普通學校 職員一同 一金七圓
全羅南道求禮公立普通學校生徒四十八名 一金貳圓貳拾錢
同 淺田源吉 一金貳圓八拾錢
大連沙河口町[illegible] 臨崎桃雪 一圓參圓
咸南洪原公立普通學校 職員一同 一金貳圓
一金參圓 也利都方樹 ▲五圓 野口商店 ▲一圓 一錢末吉清三郎 ▲二圓 知識伊太郎 ▲一圓 隆旗清三 ▲一圓 宮川シゲノ
京都府立京都第二中學校 職員生徒一同 ▲五十圓 ▲二圓 藤井 ▲一圓 山田貞吉郎 ▲五圓 佐渡秀光 ▲二圓 松田松代 ▲三圓 鳥重太郎 ▲參圓 竹中佐治郎
小計金九拾六圓
累計金六千九拾六圓七十八錢

美味て非常に滋養になる葡萄酒

赤玉ポートワイン

七大醫學博士の賞讃ある
美味滋養の葡萄酒

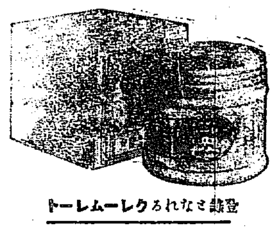


朝夕の一杯は百藥に優る

何を申しても日本で一番に品質がよく滋養力も強大であると博士の賞讃せられた位の葡萄酒ですから、虚弱な人病後の人が飲んで効力偉大であるのみならず強者も飲んで益々元氣を與賦し二倍の活動が出來る欠さず召上れ

『偽物あり』
お買求の際クレームレートとよく御指定を願ひます

お手輕に美顔術の出來る
天下一品
新美膚料
クレームレート



クレームレートの需用益々盛んなるより近來偽造品が澤山出來ました御注意を乞ふ

▽他に眞似の出來ないクレームレートの特長（三ツに於ける實驗）
◇附けて直ぐ地肌に溶け込み荒れを防ぐ
◇少しも厭な臭ひがせず肌を柔軟かにす
◇粉刷き下さして化粧晴する事天下一品

東京・大阪
平尾贊平

贊化病院
京城明治町一丁目 電話二四一番
內科 小兒科
入院隨意
毎日五名を限り施療す
醫學博士 古城憲治
金澤醫學士 打田義芳

りん病 請合藥
京城南大門外停車場通 ドラッグ商會滿鮮本部
京城黃金町參丁目 電車通り ドラッグ商會支店
ばい毒 請合藥
龍山練兵場電車交叉點前同支店
僞物あり注意詳細八日の本紙御覽